

< 調査概要 >

1、目的

地区福祉委員会が設立され30年が経過し、地域を取り巻く環境が大きく変わりつつあります。そこで、池田市社会福祉協議会では、「地区福祉委員会あり方検討会」を立ち上げ、地区福祉委員会のより一層の発展について考えることにしました。

今後の活動のあり方を考えるには、同時に活動の現状を把握し、福祉委員の意見を聞くことが大切です。今回、意識調査を実施することで、活動普及と発展に反映させていきたいと考えます。

2、実施期間 平成21年9月17日(木)～11月19日(木)

3、調査対象 池田市内全11校区の地区福祉委員572人

4、調査方法 各地区福祉委員会に調査用紙と封筒を配布し、地区福祉委員が手回収。

5、調査内容

回答者の属性

地区福祉委員会活動に関する基本事項

地区福祉委員会の課題について

6、実施主体

この調査の実施主体は池田市社会福祉協議会です。集計および報告書作成は、職員において行いました。

7、回収結果 414人 回収率72.4%

8、報告書の見方

回答は、回答者数を基数とした百分率で示してあります。小数点を四捨五入しているため、比率の合計が100%を上下する場合があります。

複数回答の項目では回答比率の合計が100%を超えます。

グラフ表示の都合上、回答の選択肢を短縮して表現している場合があります。

クロス集計はカイ2乗検定を行い、結果が意味をなしている(有意差がある)ことを確認しました。ただし問14「地区福祉委員会活動の問題点と課題」は、無回答も多く確認できませんでした。

< 調査結果の概略 >

代表的な福祉委員さんの姿



池田市に住んで37年、子どもの手が離れたのもあり、地域活動をスタートしました。福祉委員は勧められて56歳から参加し、今年で10年になります。ご近所つながりもできたし、なにより福祉について理解が深まったなと感じています。

65歳 女性 専業主婦
戸建て住まい 二人暮らし

調査結果の概略

全体の約4分の3が女性でした。

活動の中心は60～70歳代。23%が仕事をされ、70%が在住30年以上でした。

福祉委員の経験年数は、0～5年、6～10年、10年以上、それぞれ約3分の1でした。

初めて地区福祉委員会活動に参加したのは、女性50代、男性60代から。

活動のきっかけは、関係団体で選ばれた、人からすすめられたが、各3分の1ずつでした。

活動に参加して「地域について考えるようになった」人が60%いました。

半数の人が「福祉委員のなり手や協力者がいない」ことが課題だと感じています。

60%の人が、福祉委員を次につなぐには、「参加しやすい雰囲気づくり」が大切だと感じています。

回収率は72%。たくさんの福祉委員が調査にご協力くださり、関心の高さがうかがえました。

ボランティアの意識調査（平成15年実施）との比較

- ・ 男女比は同じ。ボランティア活動も地区福祉委員会活動も女性中心です。
- ・ 60代が最も多いのは同じ。ボランティアでは50代が地区福祉委員の2倍、70代が半分で、若い世代の参加がより多いことがわかります。
- ・ 活動年数は、ボランティアの方が0～5年において10%多いです。
- ・ どちらも半数近くが自治会活動に参加しています。
- ・ どちらも一番の課題は「活動の担い手」ですが、ボランティア11%、地区48%と、地区福祉委員会の方がより強く感じていることがわかります。

注意

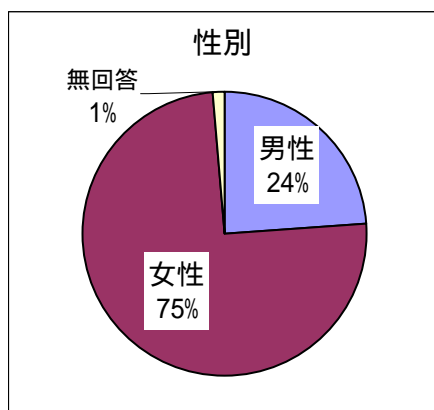
本調査結果は全市での集計のため、特に回答者の属性において、各校区の特徴が薄れている傾向があります。

< 調査結果 >

1、回答者の属性

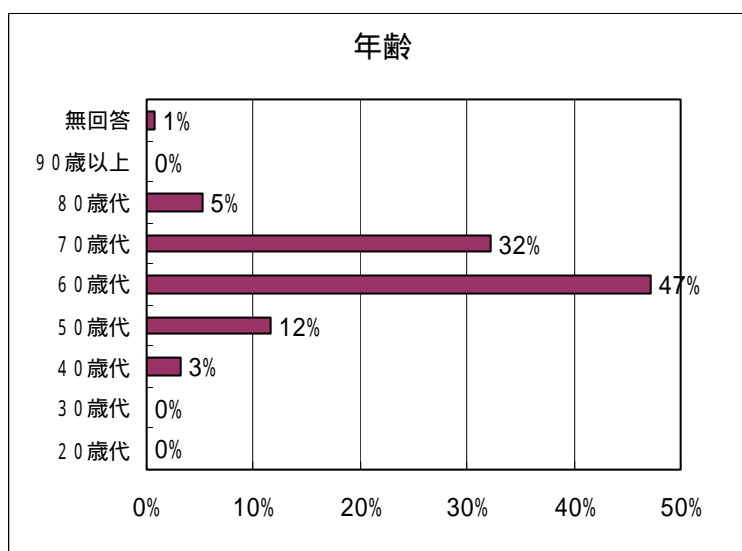
(1) 性別

「女性」が「男性」の約3倍でした。

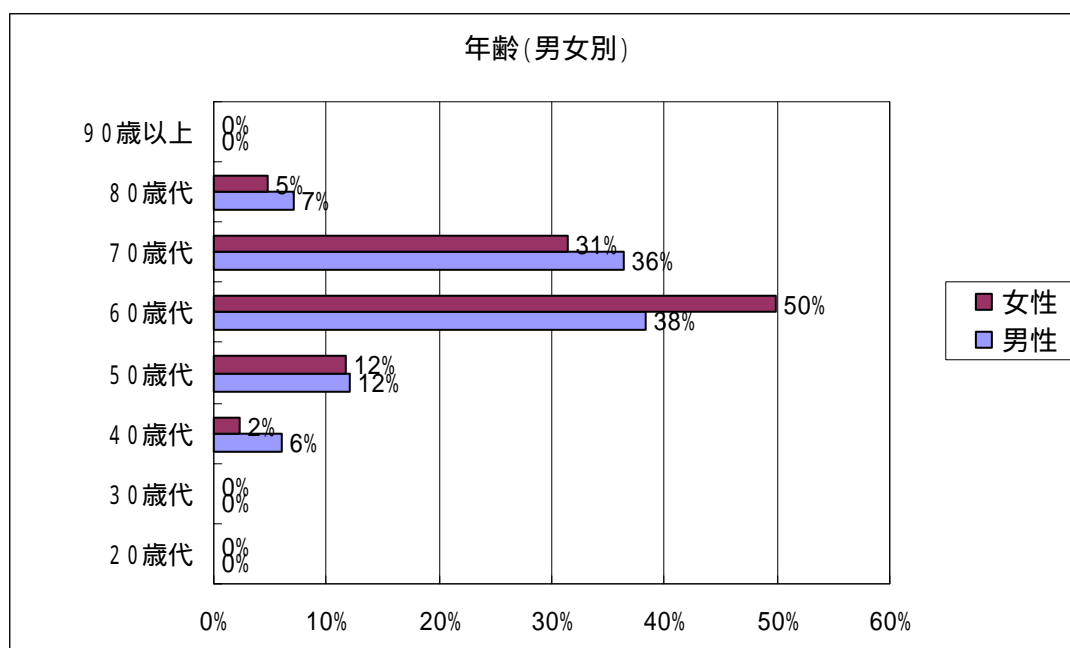


(2) 年齢

「60歳代」が47%で最も多く、次いで「70歳代」、60歳以上が全体の79%でした。

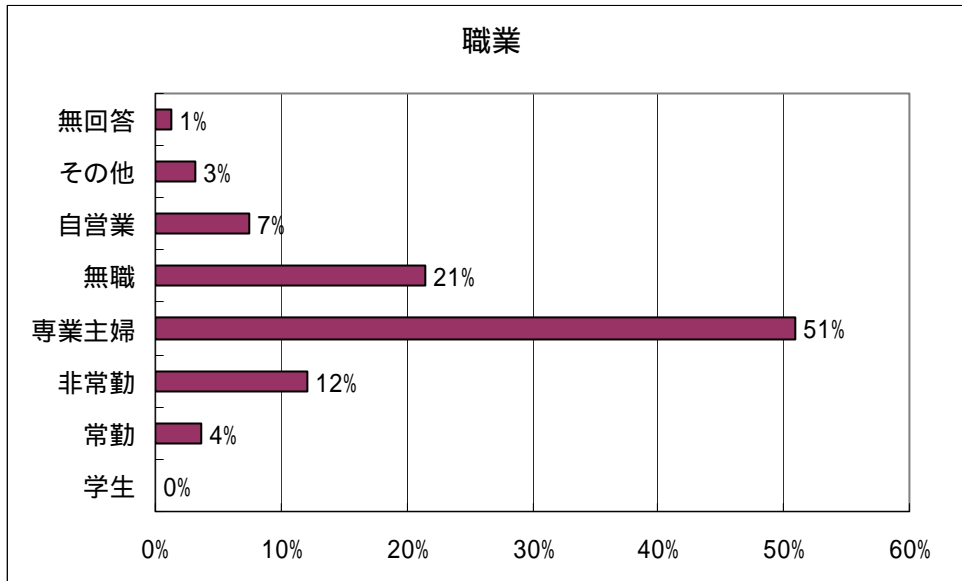


男女別では、「男性」は「60・70歳代」に対し、「女性」は「60歳代」をピークにした山型でした。



(3) 職業

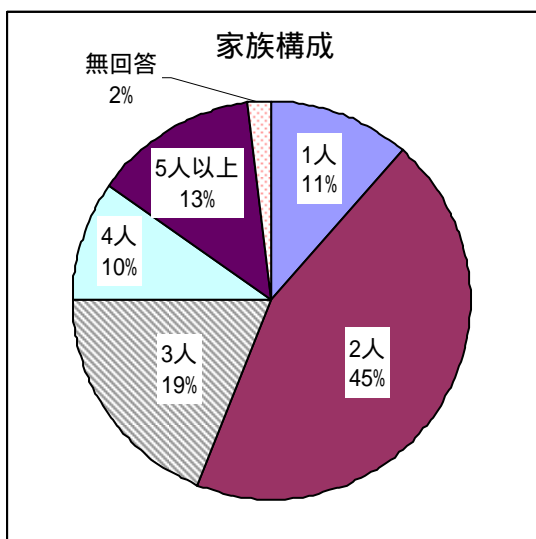
「専業主婦」が51%と最も多く、次いで「無職」21%、「非常勤」12%、それ以外は10%未満でした。これは、全体の79%が60歳以上だったことから予想される結果です。また、勤務と活動の両立は簡単ではないことがわかります。



(4) 家族構成

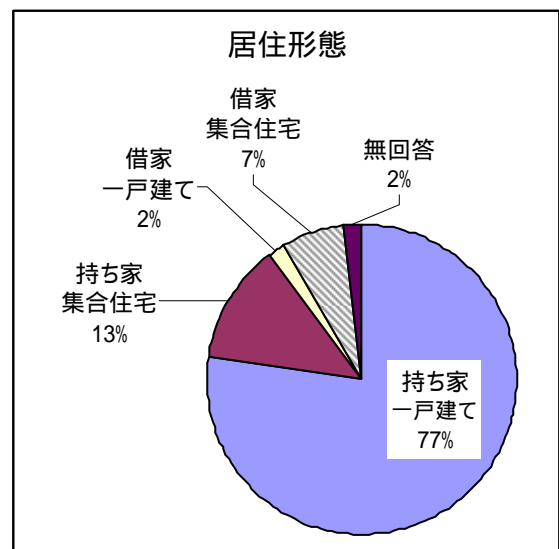
「2人」が最も多く45%、次いで「3人」19%となっています。

池田市全体の世帯構成から見ると、単身世帯の少なさと、5人以上の世帯の多さが特徴的です。



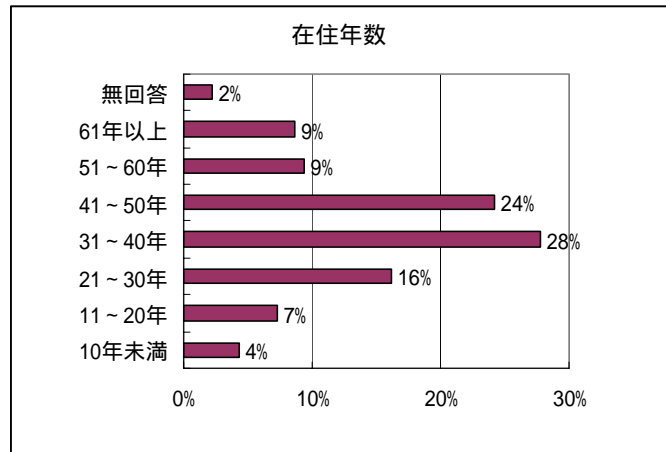
(5) 居住形態

「持ち家(一戸建て)」が77%で、福祉委員の多くが集合住宅ではなく、戸建ての住民であることがわかります。また、集合住宅も持ち家の比率が高く、定住志向のある住民が、地区福祉委員になっていることがわかります。このことは、(6)在住年数を見てもわかります。



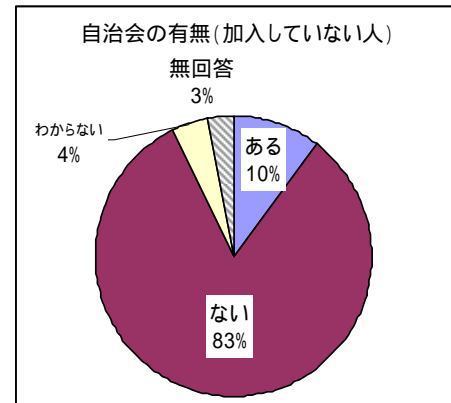
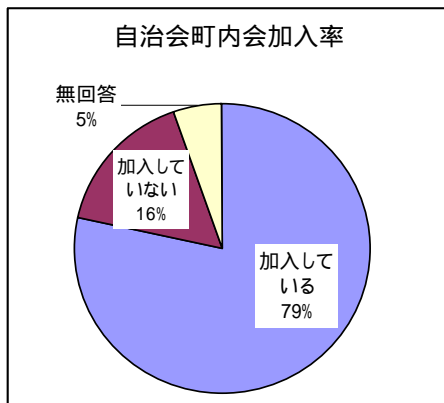
(6) 在住年数

「31～40年」が最も多く28%、「41～50年」が24%と続き、全体の70%が「30年以上」でした。



(7) 自治会町内会加入率

「加入している」が最も多く79%、「加入していない」の約4倍でした。また、自治会町内会に加入していない人の内83%が、「自治会がない」と回答しています。



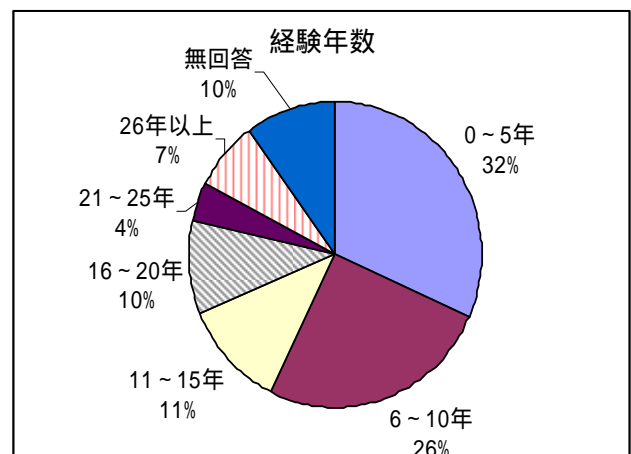
自治会からの選出で、地区福祉委員になっている人が多いことから、自治会加入率が高いことは予想されますが、自治会に加入していない人の中でも大部分が居住エリアに自治会が存在しないため、という「消極的非加入」であることがわかります。

2. 地区福祉委員会活動に関する基本事項

(1) 経験年数

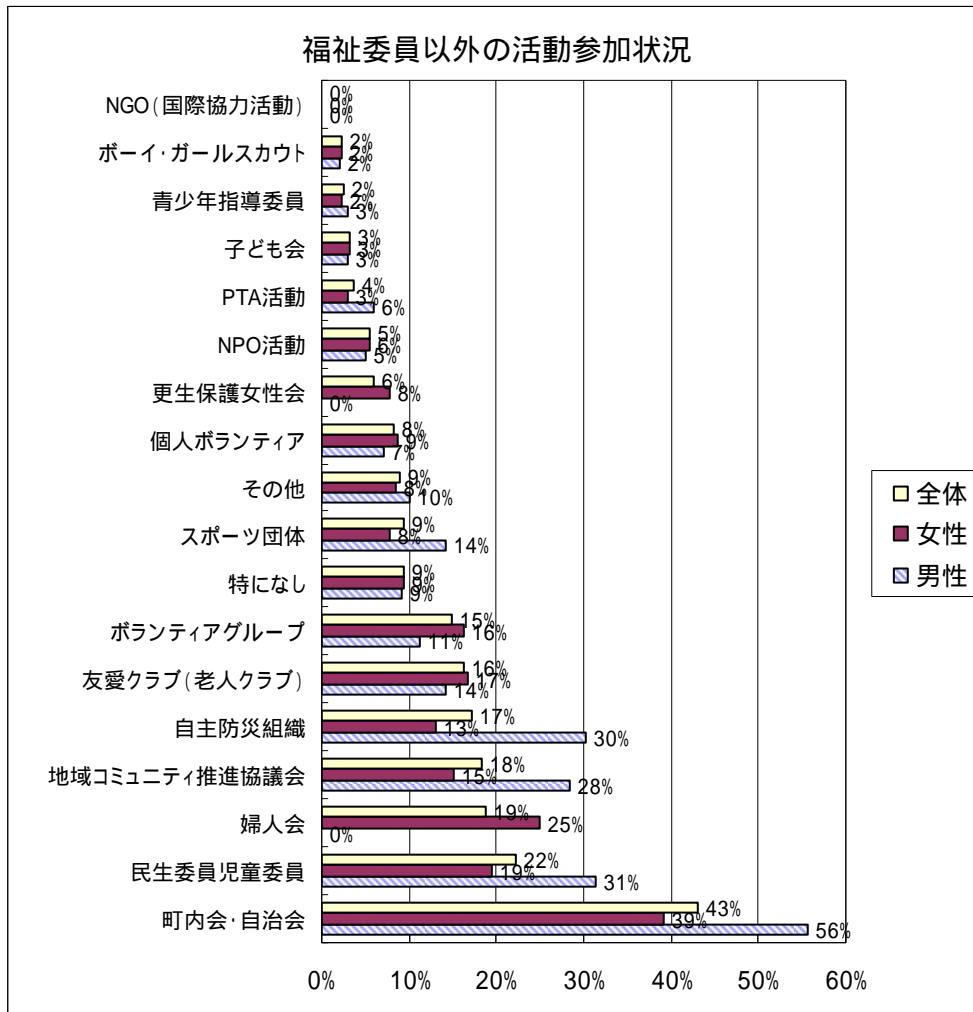
地区福祉委員の経験年数は、「0～5年」32%、次いで「6～10年」26%、10年以上の回答は32%でした。また、「26年以上」が7%あり、地区福祉委員会設立当初からの委員もおられることがわかります。

地区福祉委員は、同じ人が長い間やっていて新しいなり手が少ないという声がよく聞かれますが、経験年数の浅い人の割合も少なく、適度な交代が行われていることがわかります。



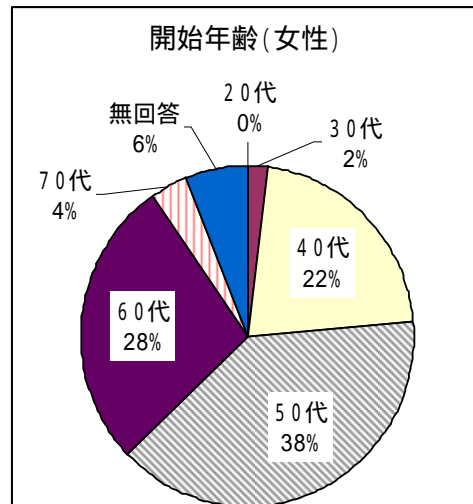
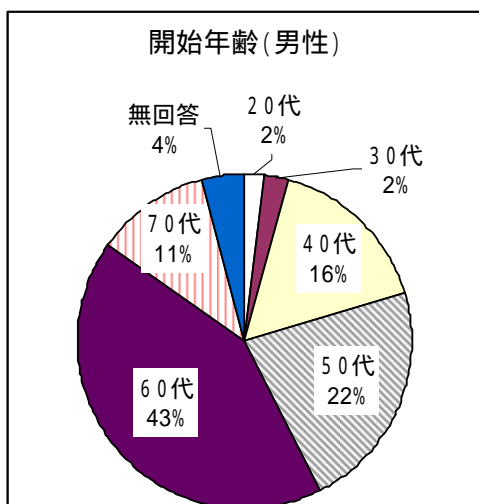
(2) 地区福祉委員以外の活動参加状況

男女ともに、「町内会・自治会」がトップでした。特徴としては、女性は、ボランティア・友愛クラブ・コミュニティ推進協議会・婦人会・民生児童委員と多様な活動に関わり、男性は自主防災・コミュニティ推進協議会・民生児童委員など地域を基盤とした活動が中心であることです。



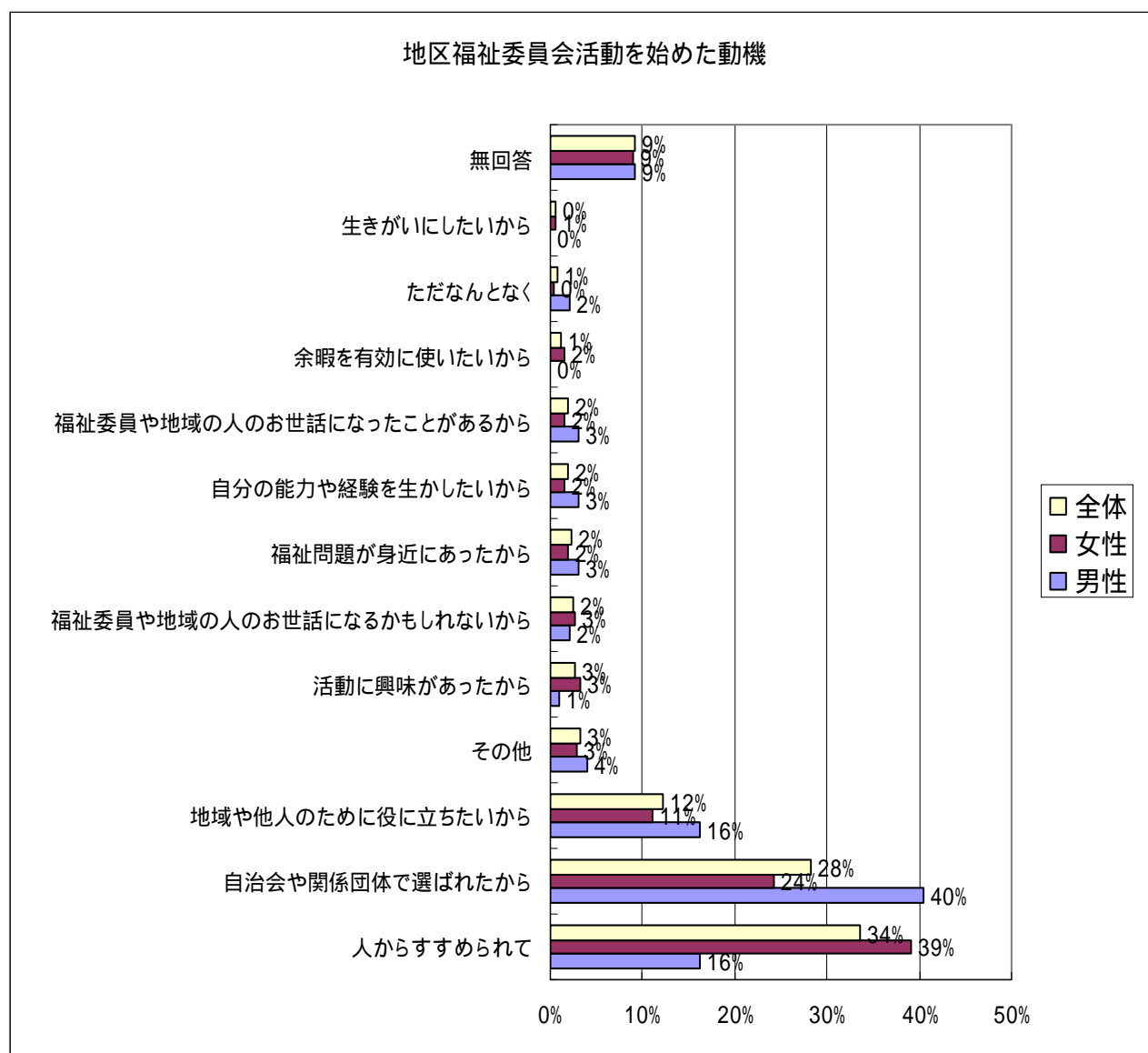
(3) 地区福祉委員会に初めて参加した年齢

「男性」は「60代」43%が、「女性」は「50代」38%がトップでした。主に男性は定年後から、女性は子どもの手が離れた頃から、活動を始めていることがわかります。



(4) 地区福祉委員会活動を始めた動機

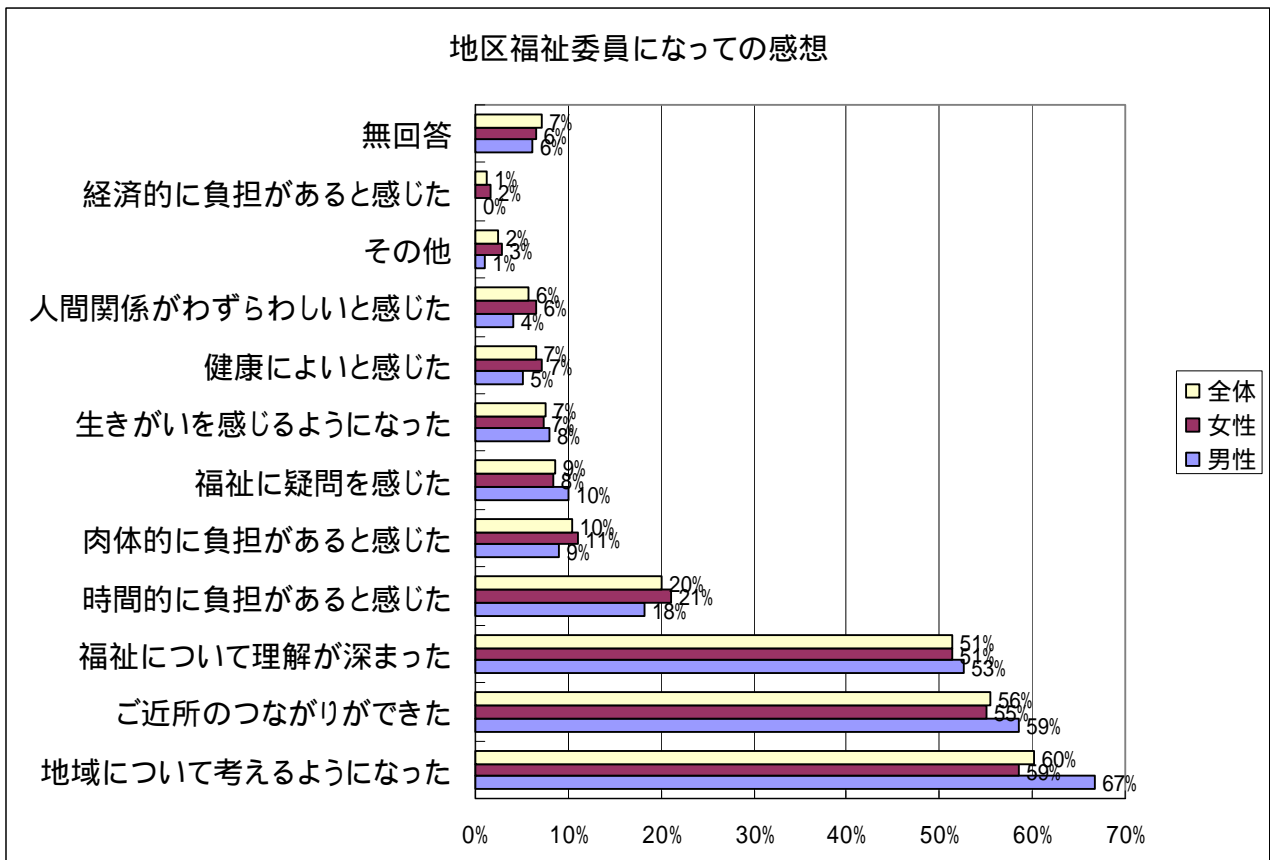
「男性」は「自治会や関係団体で選ばれて」40%、「女性」は「人からすすめられて」39%がトップでした。



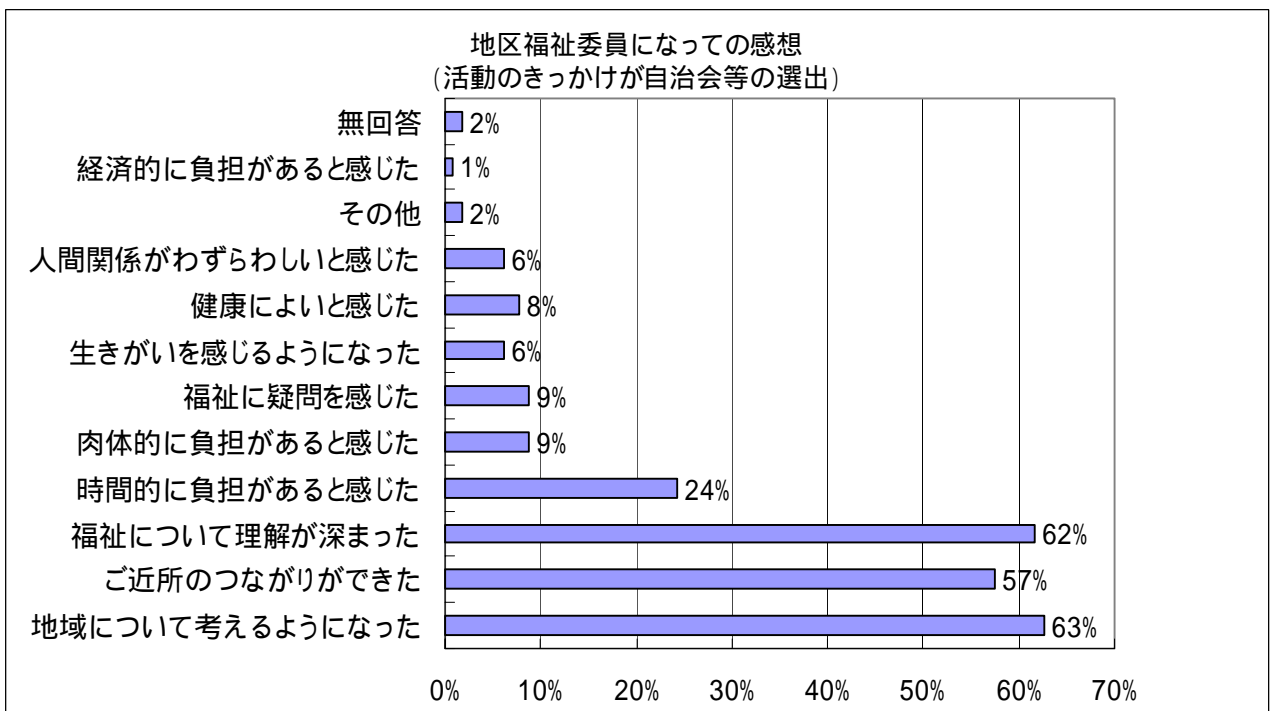
自ら地区福祉委員になる人は少数派で、多くの方が人からすすめられたり、所属団体から選ばれていることから、新しい地区福祉委員の募集には、関係団体で既に活動している人や、地区福祉委員になってほしい人に直接声をかけることが効果的だということがわかります。

(5) 地区福祉委員になっての感想

男女ともに、1位「地域について考えるようになった」、2位「ご近所のつながりができた」、3位「福祉について理解が深まった」と前向きな感想が上位を占めました。



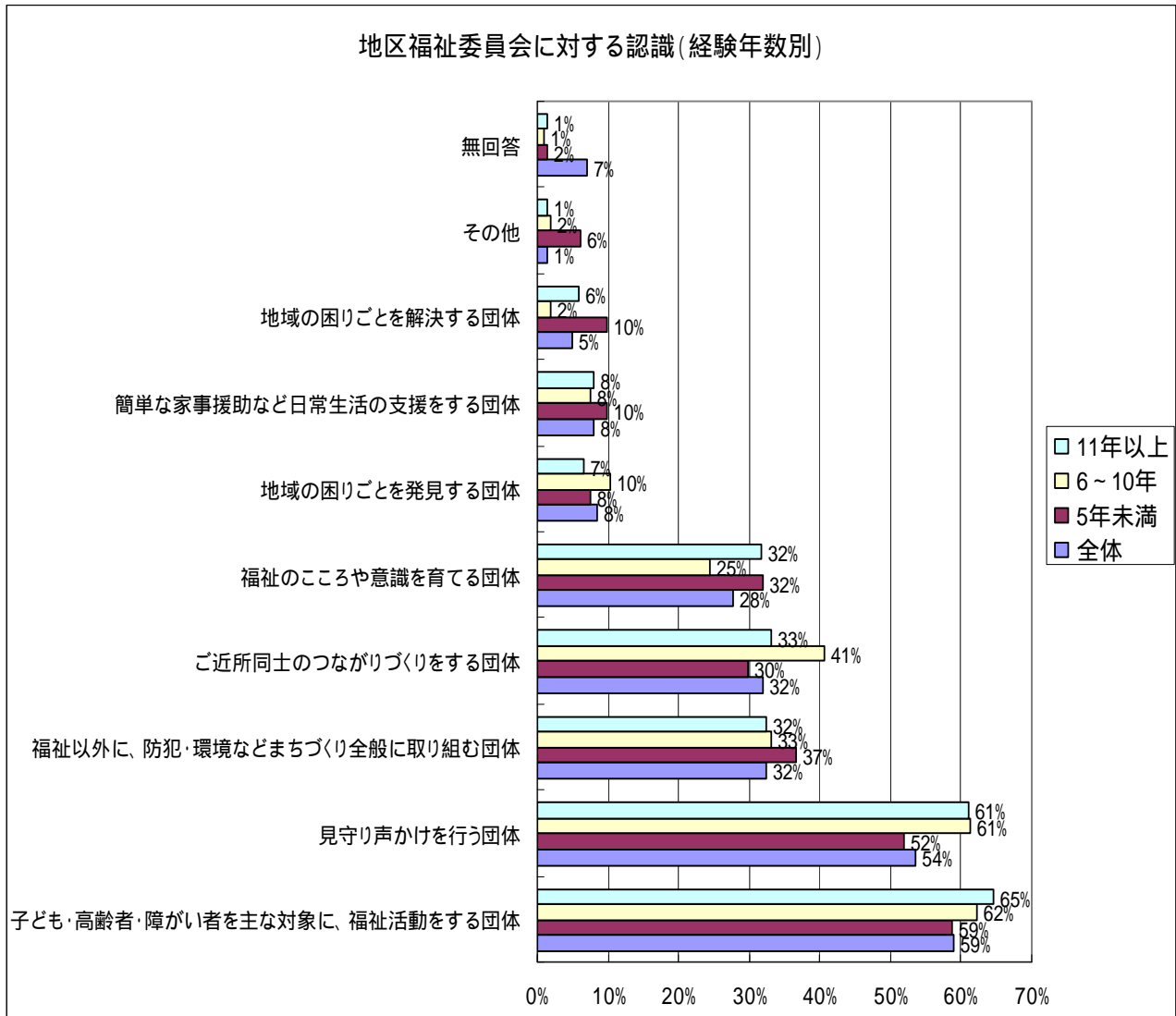
また、活動を始めた動機が「自治会や関係団体で選ばれた」人も、結果に差異はなく、選ばれての参加であっても、前向きな感想をもたれていることがわかりました。



(6) 地区福祉委員会の認識

いずれの経験年数も「子ども・高齢者・障がい者を主な対象に、福祉活動をする団体」がトップ、次いで「支援が必要な人を対象に、見守り声かけを行う団体」と続きました。「5年未満」に回答項目の分散がみられることが特徴です。

また、「福祉以外に、防犯・環境などまちづくり全般に取り組む団体」の回答も少なくなく、福祉以外の分野の活動にも取り組んでいる実績があり、また取り組みの必要性を感じていることがわかります。



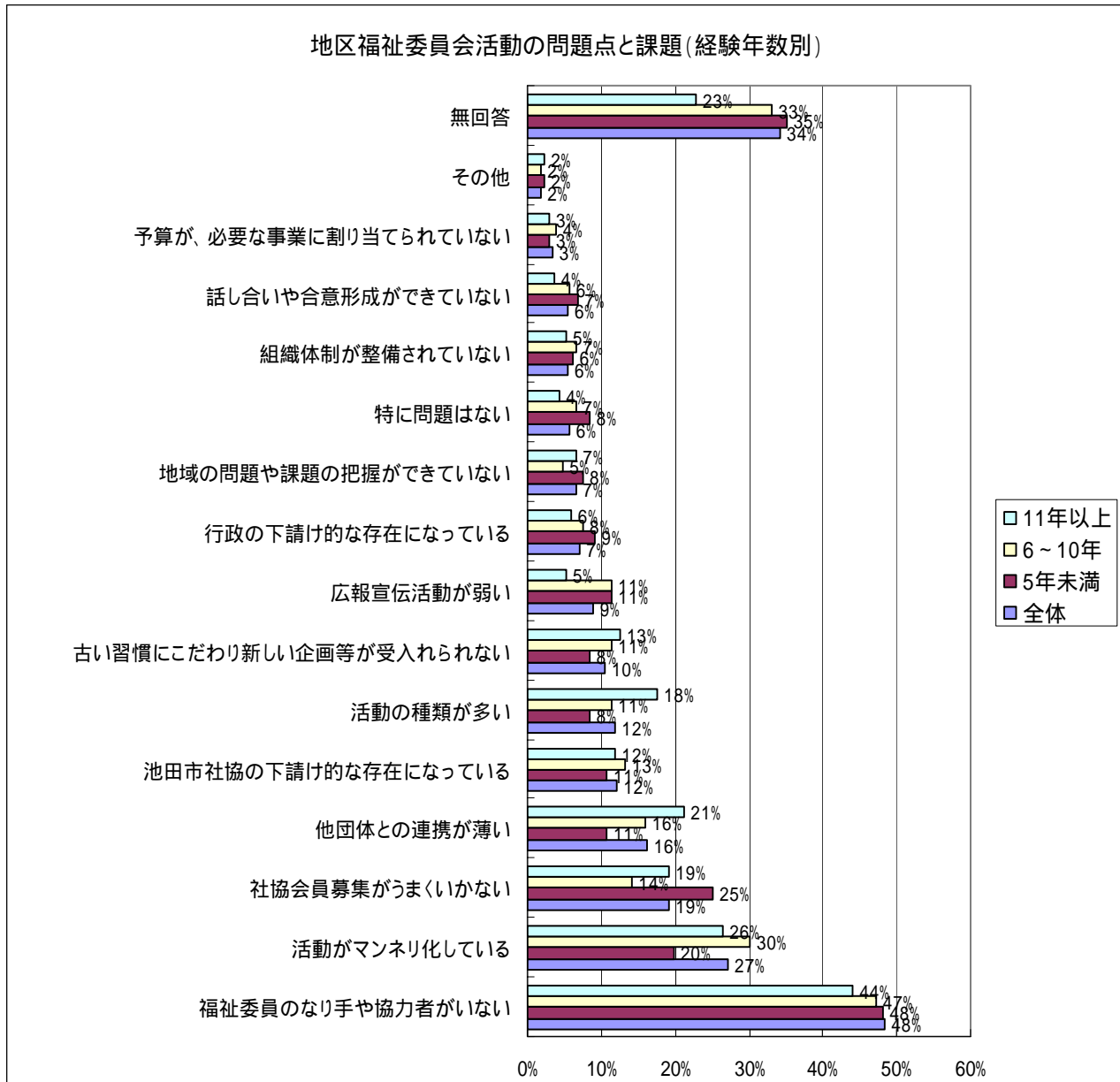
3、地区福祉委員会の課題について

(1) 地区福祉委員会活動の問題点と課題

「福祉委員のなり手や協力者がいない」が最も多く全体の48%、次いで「活動がマンネリ化している」27%、「社協会員募集がうまくいかない」19%と続きました。

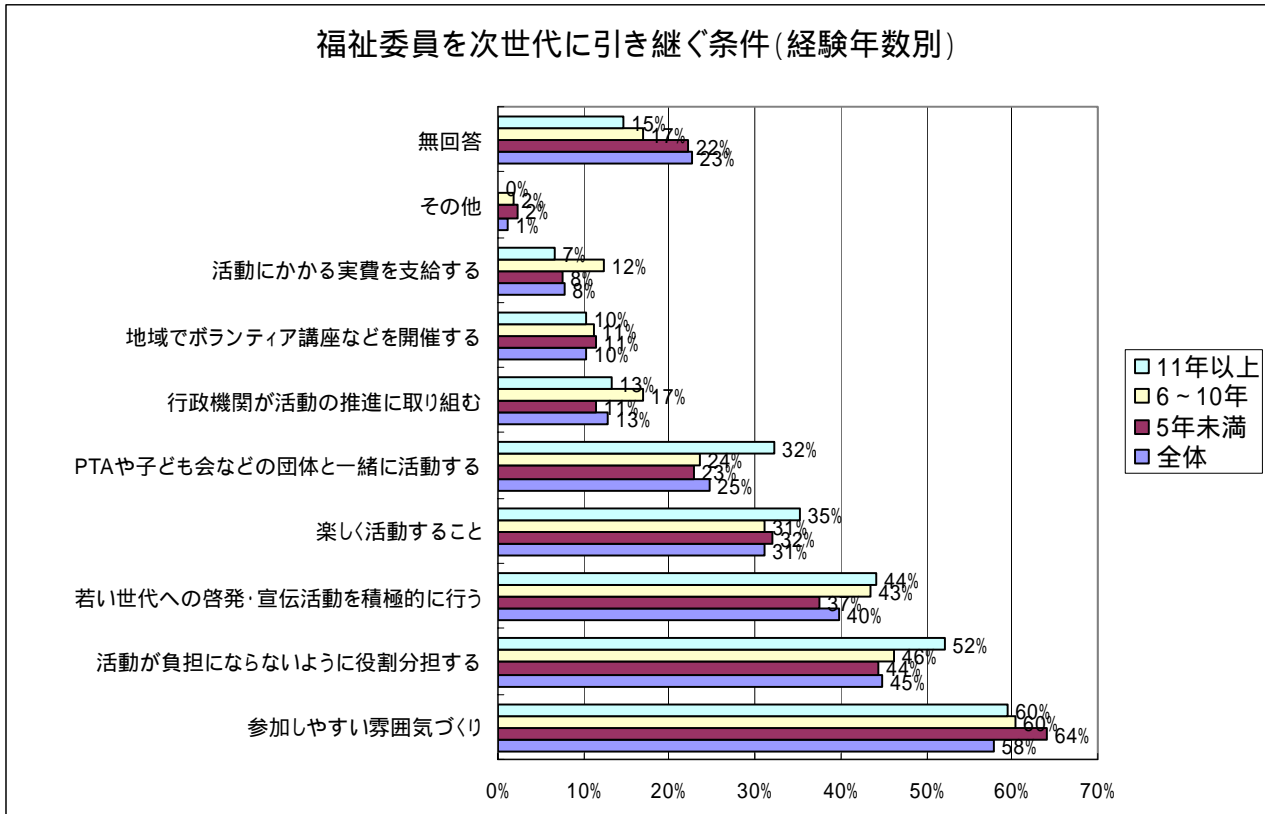
無回答が多く、各選択肢の回答数が少なかったため、経験年数別で差があるかどうかははっきり確認できませんでしたが、「11年以上」は他と比べて無回答が少なく、問題や課題を日頃から感じている表れだと想像できます。

また、複数回答や選択肢が多い場合、回答しづらい傾向があることが、無回答の原因と考えられます。



(2) 地区福祉委員を次世代に引き継ぐ条件

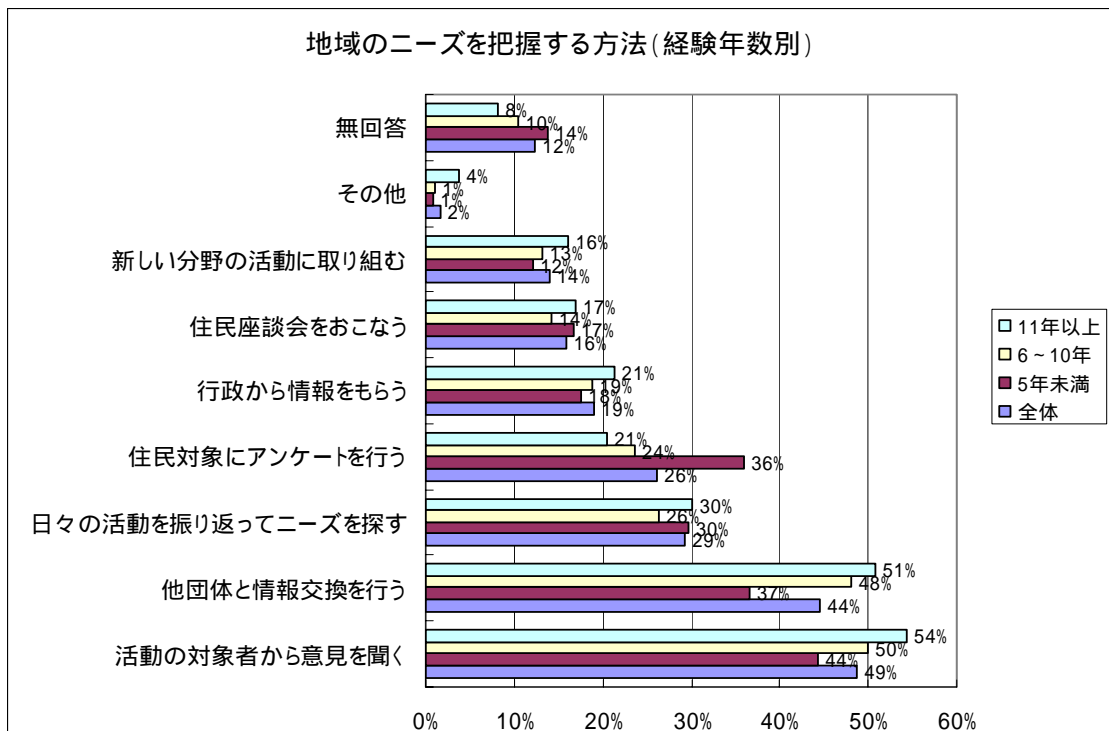
経験年数であまり差はなく、最も多いのは「参加しやすい雰囲気づくり」でした。



(3) 地域のニーズを把握する方法

「活動の対象者から意見を聞く」、「他団体と情報交換を行う」が重要と考える人が多い中、「5年未満」は他の年代を比べ、「住民対象にアンケートを行う」が多いのが特徴でした。

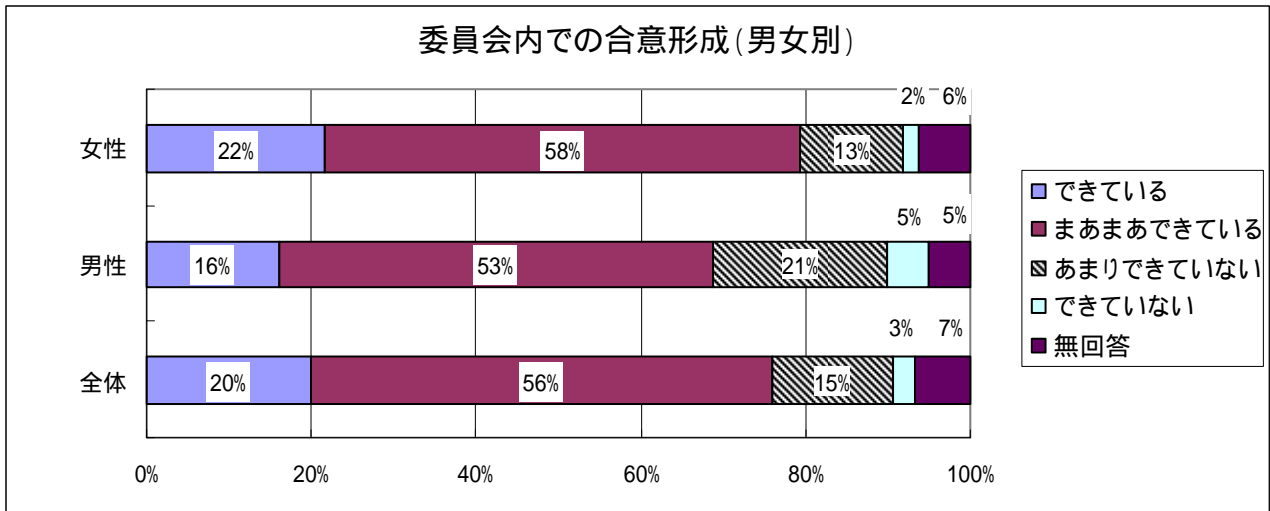
経験年数の浅い人ほど、日々の活動の中からだけでなく、幅広く住民のニーズを把握する必要があると感じていることがわかります。



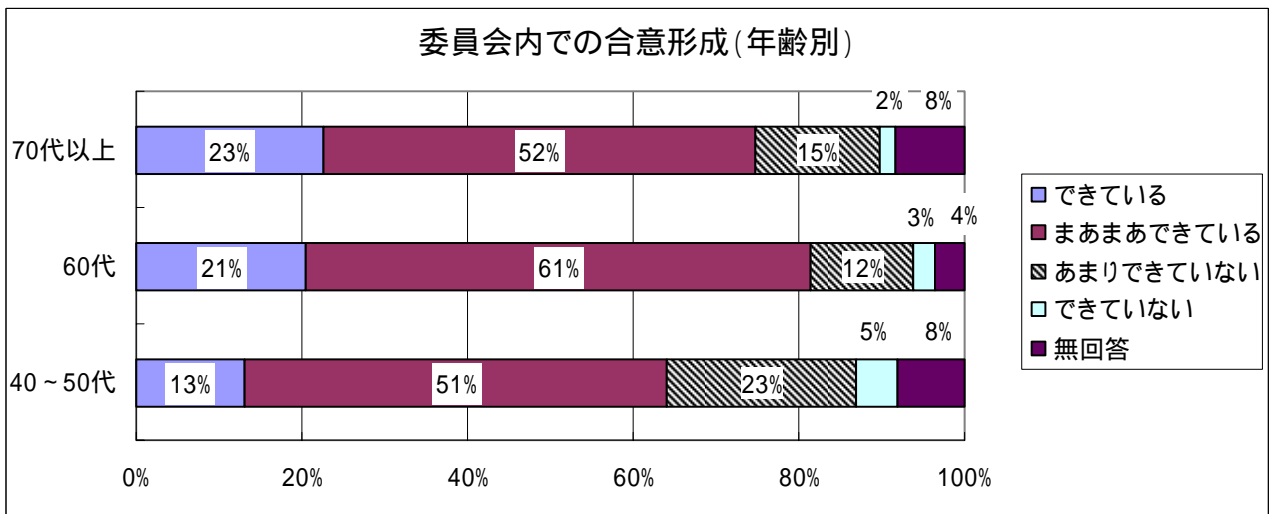
(4) 地区福祉委員会内の合意形成

「あなたの地区福祉委員会では十分な話し合いのもと活動ができていますか？」の質問に対し、「まあまあできています」56%が最も多く、次いで「できている」20%、「あまりできていない」15%と続きました。

男女別では、男性が女性より「あまりできていない」、「できていない」と感じる人が多いです。



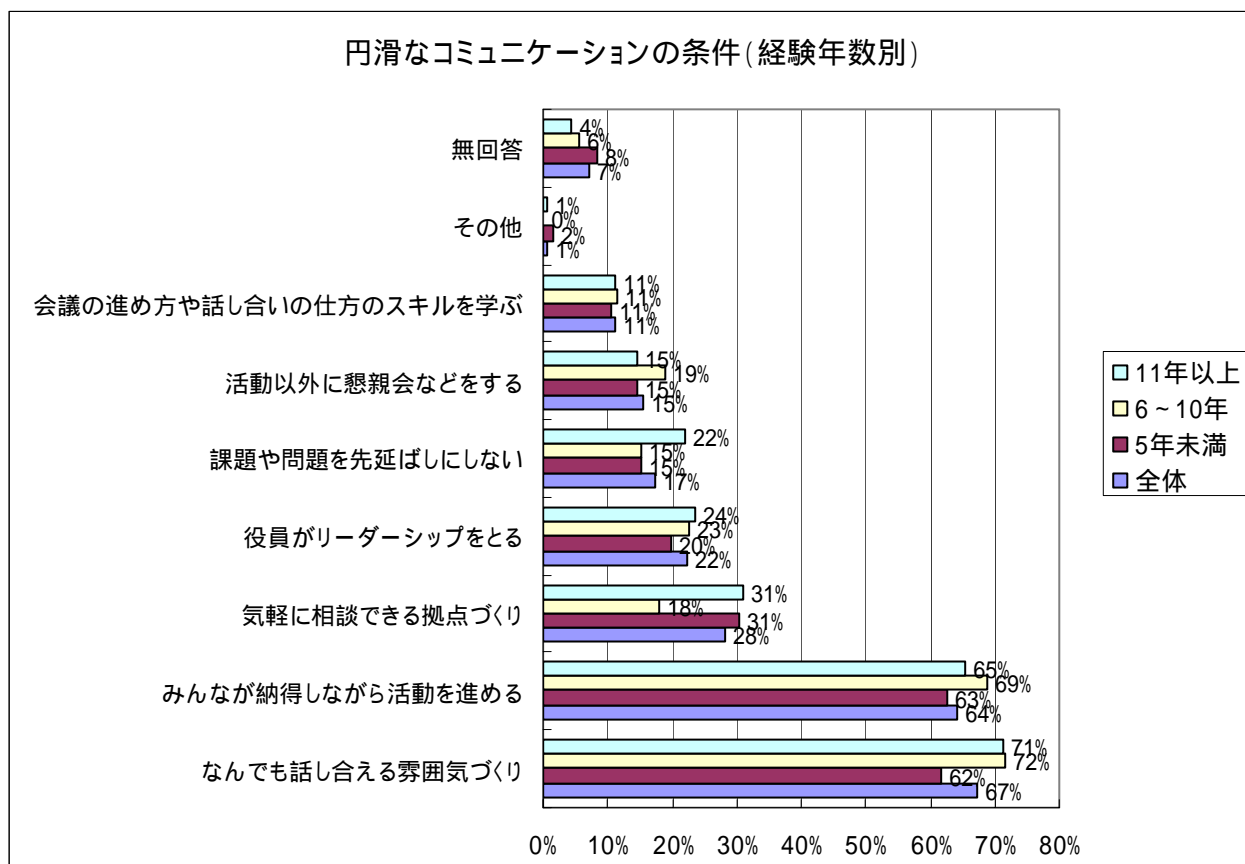
また、年齢が低いほど、「あまりできていない」、「できていない」と感じる割合が多い傾向です。



地区福祉委員会の中心(役員)に、若い人や男性が少ないことも影響していると考えられますが、今後、これらの人たちが地区福祉委員会の中心的役割を果たすためには、合意形成の方法について工夫が必要であることがわかります。

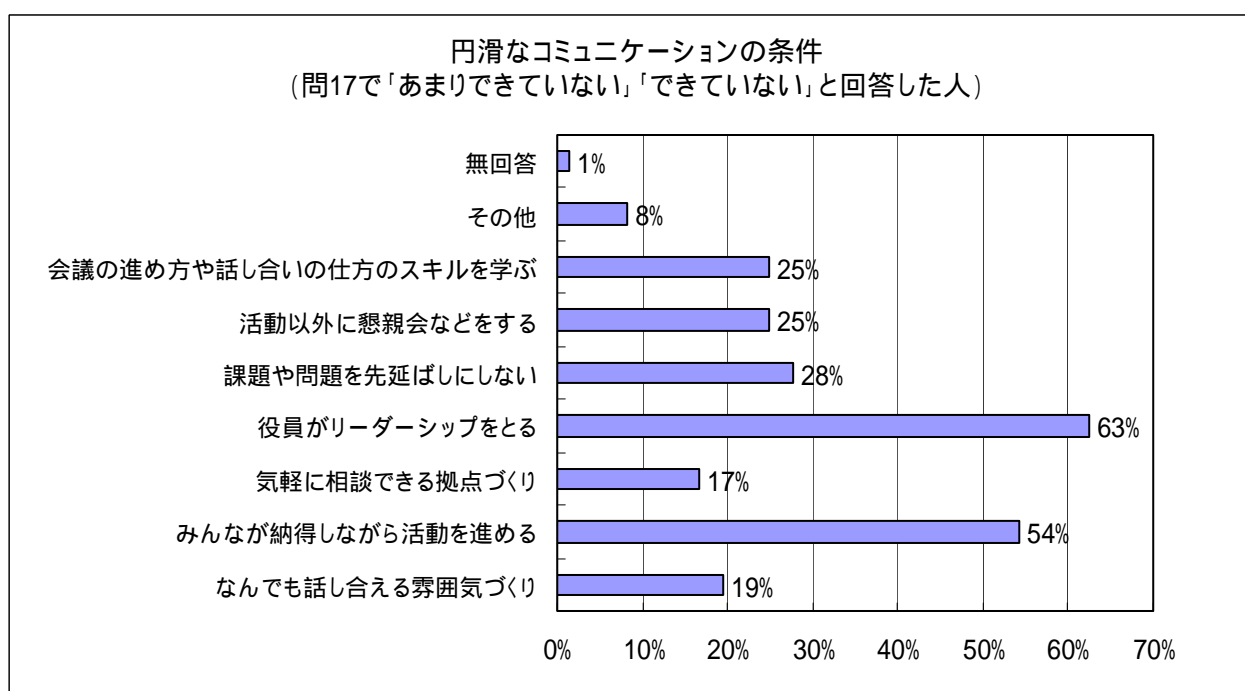
(5)円滑なコミュニケーションのための条件

いずれの経験年数でも「なんでも話し合える雰囲気づくり」、「みんなが納得しながら活動を進める」が上位になりました。



問17で、委員会内での話し合いが「あまりできていない」、「できていない」と回答した人は、「雰囲気づくり」よりも、「リーダーシップ」と「納得しながら活動を進める」が上位になりました。

メンバーの意見を聴いて、みんなを納得させながらまとめていく役員の方に、期待が寄せられていることがわかります。



4、自由記述

(1) 地区福祉委員会と他団体との連携事例

他団体との連携について、うまくいった事例、これから連携したい事柄を記述いただきました。
回答はおおむね下記の項目に分類しています。

項目(件数)

民生委員(12)	自治会・町内会(11)
小学校(PTA)、子ども会、子育て団体(9)	友愛クラブ(老人クラブ)(3)
コミュニティ推進協議会(4)	地区福祉委員会同士(6)
ご近所同士の連携(4)	社会福祉協議会事務局(4)
いろいろな団体との連携(17)	あまり連携できていない(5)
その他のご意見(5)	

民生委員との連携

- ・ 地域の独居の方が病気になり、手術をされた時、福祉委員と民生委員が話し合っ、お世話が出来た(親戚もない方だったので・・・)。
- ・ 民生委員 お年寄りや1人暮らしの日常生活等ある程度把握できる。
- ・ 地域の活動行事については、地区福祉委員と地区の民生委員が一体となって助け合いながらすべての行事を行っています。
- ・ 地域全体に配置されている民生・児童委員会との連携は絶対に必要な条件と考える。当委員会では、全民生・児童委員の参加を頼り、密接な連携の中で活動を進めている。
- ・ 我々の地区では、地区福祉委員会と民生児童委員が連携を取り合っ、各行事に参加協力している。
- ・ 地区福祉委員そして民生委員会と北豊島校区は共にうまく活動ができていると思います。
- ・ 民生委員の方々と情報お互いに話し合いますが、一部役員のための雑談になる。個人数人なので長続きしない・・・。
- ・ 福祉委員と民生委員との連携が大切だと思いますが、福祉委員会に参加されていない男性民生委員の方との連携がもっと大切だと思います。
- ・ 以前は地区内の民生委員の方は情報がよくわかっておられて、近くの方の情報を交換していましたが、委員さんが替わられてからはそれがなくなりました。
- ・ 民生委員との連携が大事。
- ・ 民生委員との連携は、信頼面等においては、大変助かると思う。しかし、民生委員の枠内に入りすぎではいけない所がむつかしい所です。
- ・ 民生委員さんが先頭に立たれているので、地区福祉委員がどの辺までしてよいのか分からない事があるので困る

自治会・町内会との連携

- ・ 町内会 福祉委員の選出がスムーズにできた。
- ・ 会員募集の時、町会が集金してくれるので、委員は足らずの集金だけで助かっている。
- ・ 自治会と連携して社協会員募集を実施しているので、福祉委員の負担も少なく、住民全体の周知にも役立っている。
- ・ 建石町で会長からの依頼文とともに福祉会員募集をした時、多くの新規申し込みがありました。建

石町としては上池田との協力で、この地域への細やかな配慮で行き届いた福祉が出来たらよいと思います。

- ・ 毎月ふれあい食事会をしているが、自治会・エイフ・ボランティアさん達が心よくお手伝いをして下さっている。
- ・ 石橋南地区自治会の防災訓練が行われた時、福祉の方から参加させて頂きましたが、自治会のない地区の者にとっては、良い体験が出来たと思います。今後もこの様な催しをして頂ければ、一緒に参加させて頂きたいと思います。
- ・ 自治会、子ども会、PTA等とは、夏まつりの夜店を出したり、盆踊り等楽しい行事に参加しました。
- ・ 町会主催の会合の席などに福祉委員が出席し、具体的な活動内容を伝える。「社協の活動ってどこで何をしているの？」を聞かれた事がある。
- ・ 自治会の定例会に、福祉で決まった事を発表する機会があるので助かります。もっと福祉の仕事の情報を発信していきたいと思います。
- ・ 自治会、老人会、横のつながりをもっと大切に。話し合いが出来る事を望む。
- ・ 自治会、子ども会、民生委員と連携する方策はないか
小学校（PTA）子ども会、子育て団体との連携
- ・ 地区小学校にて給食会を開き、他団体との交流、子ども達との交流といろいろ出来ている。
- ・ 私は地区福祉の協力校部会にかかわっています。石橋南小学校の6年生5、6人一緒に、ふれあい給食会で老人会とか婦人会の人達10名、学校側から校長、教頭さんと計18名の給食を共にしながら、生徒さんと話をする時は私も癒される一刻です。
- ・ 小学校との世代間交流を通じて、他の団体と知り合えた（例 小学生と昔あそび、毎月各種団体と給食会（児童と共に））
- ・ 地区福祉委員会と校区小学校との交流連携がうまくいっていると思う。1、教科の中で地区又は地区内の高齢者会員の手助けを要する場合、積極的な協力がある（例・・・昔のあそび等）2、学校行事の時、学校よりの要望があれば地区が協力している（講演会等の子ども預り）3、小学生との「ふれあい給食」等、核家族の子ども達に教育効果があると学校よりのお話。
- ・ P T A や他団体との連携
- ・ 子育てサロンは五月丘保育所をお借りして開催。指導して頂く桜井さんにお世話頂いています。小学校（P T A）と協働で、もちつき大会を行っております。
- ・ 地域子育て支援会議に参加させてもらっています。情報交換他いろいろなことを教えていただきながら、年1回のイベント開催で子育て支援活動をお知らせし、必要な方に必要な情報が届くように心がけています。
- ・ お祭りで子ども会とかを巻き込むことで、子ども会としても収益に向けて子どもを使ってお店をこなしている。
- ・ 校区内の子ども会と校区レクリエーション大会や子ども SOS に参加し、高齢者（独居）とのコミュニケーションや安否確認をした。

友愛クラブ（老人クラブ）との連携

- ・ 高齢者、個別支援活動においては老人クラブ（友愛会）との情報交換、交流が何より大切。連携を持つことで、地域が今何を必要としているのかの手助けが出来ると思う。
- ・ 老人会と連携してふれあいサロンを開催しています。一定の人数を確保できる。
- ・ 老人会、婦人会など地域と連絡を取り合っ、色々な情報を聞いて、それに対応できるようにしたら良いと思います。あまり住民の人は地区福祉の事を知りません。子育ての親御さんとか若い人に

も知らせるべきではないかと思います。

コミュニティ推進協議会との連携

- ・ 地域コミュニティと連携をとっていただけたいですね。
- ・ 地域コミュニティとの連携を取るようにしたい。
- ・ コミュニティ協議会を中心に校区全ての団体が組織となり、情報・事業の一元化をはかる事が大切。活動の中心は学校とし、グラウンドを利用している団体も含め、校区内の全ての組織・団体で1つの事業を実施するなどして、老若男女・世代を超えた交流の場を実現。1団体の主催ではなく、共催する事で役割と所属を分担することが大切。
- ・ 地域分権 かわかる事で地域全体の環境・福祉・教育等より分かるようになった。

地区福祉委員会同士の連携

- ・ 近くの福祉委員会を見学して、いいことを取り入れてみたい。1人1人に話し合っ、少しずつボランティアをしていただきつつ参加してほしい。
- ・ 他地区の活動を実体験する機会をもつなど、ある程度横の活動もしては？
- ・ 各地区の活動状況をもっと知りたい。
- ・ お互いの委員会が互いに連絡をとり、講演会、催物等を共通の話題とし、多くの人達に参加できる様なシステムを作っはと思います。
- ・ 他地区との意見交換を行ったら良い。
- ・ 秦野地区のものですが、隣り合う緑丘地域、五月丘地域、石橋地域等、手を取り合っ、事柄を進めていきたい。交通安全、見守り隊(子ども、高齢者)の事業。

ご近所同士の連携

- ・ 隣どうし、知り合いなど一声かけて、会合などいくといいと思う
- ・ とにかくどんな事にでも参加して頂くのが第一。町内会等に入っていない方に対して声かけるなど、地区や市域の行事をほとんど知らしめているようで周知されていないように思う。地区内では、例えば地区運動会や夏祭り、秋祭りまたワイワイ祭りとか、自然体ではがんがら夏祭りとか、11月の文化デーとかいった事等が。
- ・ 新しく地域に引っ越してきた方達との情報交換が必要と思われま。マンションや団地等の自治会で固まっている感じま。助け合いを必要とする年齢には間があるので仕方がないかもしれま。問20と重複してま。
- ・ 住んでいる住民の方々と、深く連携して町会に全員入会してもらっ事が一番大事な事と思っま。マンションの入居者の方とか1人暮らしの方それぞれの方たちと気軽にお話が出来る様に、住民の方でしたら誰とでも。

社会福祉協議会事務局との連携

- ・ 社協の今後については、もっとボランティア度を上げて、各種事業・行事を実施する事を希望ま。
- ・ 健康まつりに参加？してのバザーは良いのではないのでしょうか。品物が少なくなってまいますが全体(多くの地区)の委員さんとお会いできます。同窓会の様な部分もあり、楽しいです。
- ・ 地区の事は地区で解決を、と言う事を聞かま。福祉委員の高齢化も進んでなかなかうまく運営がむずかしくなっっている昨今。協議会で常時活字の情報ではなく、現地アドバイスを願ったい。
- ・ 社会福祉協議会や公益活動促進協議会を拠点に、池田市全体にわたっ活動している団体と連携が出来ればと考える。そういう場の設定を社会福祉協議会がしてくだされば有難い。池田の中心部で結構な活動をしてま、遠方の地区福祉委員会は何も知らないということがある。連携が深まる

ようになればと思う。

いろいろな団体との連携

- ・ 団体の枠を越え、動けば力が倍増しました（他団体の専門性を借りる）。
 - ・ 他団体（自主防、コミュニティ推進委員、自治会活動（夏祭り、運動会）、PTAのOB会）と継続して付き合ってきたお陰か、協力もできるし、反対意見も言えているかな。
 - ・ 各団体の委員長会長等と連絡を取り合いながら、協力をしています。コミュニティ推進協議会、自主防災、民生児童委員会、各自治会、町会、PTA等、会長と懇談しています。各会長のお願いごとに従い協力しあっています。
 - ・ 当地区で行っている「わいわい祭り」は、多くの団体が協力して、住民参加で盛り上がっている。
 - ・ 地区自主防災・防犯との付き合い
 - ・ 他団体も福祉活動に関わって欲しい。
 - ・ 諸団体とのコミュニティを進めること。
 - ・ 他団体との連携はまず地区福祉の存在を認めてもらい、理解してもらうことから始める必要があると思います。
 - ・ 誰もが自然に支え合い、信頼と微笑みの大切さを感じるボランティア体験学習を更に進められたいし、進めていきたいと思っています。特別養護老人ホームとの連携をより深め活動していきたいと思っています。
 - ・ 地区の中に商店会があり、色々のイベントも商店会のお手伝い等、地域全体で行っている。でも、福祉会員の方は、いつも手伝っていると考えている。商店会側から言えば、商店会があるからこそ、できるイベントもある。共に力を合わせ地域のためを中心に考えていくべきと思う。
 - ・ 他団体と連携を保ちつつ、社協、地区福祉活動をすすめていきたいが、かなり時間的負担が要求されるので、いくつもの団体と協調していく限界がある。地区福祉委員がいくつかの団体にかかわっていることで、理解をもらえる。しかし、この方法だと人の増加はなかなか望めない。地区の中でもバランスよく参加してもらえたらと思う（1丁目には5人、2丁目には4人、3丁目には0人といったアンバランス）
 - ・ どの団体がリードするか問題によって異なる。その時ケースバイケースで、連携し合えるには、お互いかわる人々が信頼し合える間柄であることが大切。必要となれば、どの団体グループともかわることができるように願う。もし失敗してもおそれないことだと思う。
 - ・ 別々の行事を一緒にし、成功したときめきクラブ。10年以上前から市のときめきクラブと地区独自のひとり暮らし昼食会行事が別々に活動していましたが、特にときめきクラブの参加者が減少。社協、市の皆様方と相談した結果、参加者の条件を少しゆるめ、市のときめきクラブ（午前中）とドッキングさせ、活動しているのが現在のふれあいサロン（10：30～14：30）です。
 - ・ 福祉委員会の各部会の目的、考え方で他団体と共に良いと思えたら連携して、行事等計画するとよい。
 - ・ ボランティアグループ等と地区福祉の部会は同じ様なことをしているように思いますので、一緒に活動が出来るようになればよいのではないですか。
 - ・ 福祉、ボランティア、民生等は目的が同じ方向性なので、どことも活動がはち合わせしている部分がある様に思えますが、その辺の話し合いをみつに出来ないか？
 - ・ 目的を同じくする団体が沢山あります。情報共有が大切では・・・。
- あまり連携できていない
- ・ 何十年もの間、福祉委員として他の団体との交流もなく、それぞれ個人プレーでやっている様に思

えた。まだまだ個人プレーが多い中少しずつ連携も取りつつありますが、ボランティアも増えているわりに自分たちの団体だけをしっかり固めて進まれている様に見える。もっと内容をボランティアをする方達に伝えて行って下さる事を望みます（特に役の上層部の方に）。

- ・ 他団体との懇親会また研修があまり進んでないように思われます。
- ・ 呉服地区は他福祉団体との交流が行われていません。
- ・ 他団体とのつながりがないのでよくわからない。
- ・ 特に行政よりの資金付与の少ない社協と同様な団体（自治会、町会、老人会、子ども会など）とは割りに連携がうまく行っており、資金付与が多くボランティア度が低い団体（スポ振、青少年、民生委員など）が続き、行政との協働関係が一番低い気がします。

その他のご意見

- ・ 地域住民のために各々が奮起してください。
- ・ 今のところ新米のため。
- ・ 委員経験2年になる私にとってありません。
- ・ 福祉委員の仕事をやり始めたばかりでよく分かりません。今は先輩方についていく事だけで、少しでも役に立てればと思っています。
- ・ 地域における福祉活動は、いかに地域との連携を図り、いかに密着できるかがキーワードだと考えている。

(2) 地区福祉委員会活動に対する感想と意見

これからの地区福祉委員会活動に対するご感想ご意見(社会福祉協議会への要望など)を自由に記述していただきました。回答はおおむね下記の項目に分類しました。

項目(件数)

若い世代の参加(25)	福祉委員・役員(18)	福祉委員会の組織体制(9)
活動内容(22)	広報PR活動(10)	社協会員会費(8)
社会福祉協議会と事務局(17)	活動しての感想(22)	応援メッセージ・意気込み(11)

若い世代の参加について

- ・ 若い人の入会。
- ・ 若い方の参加を願います。
- ・ 若い方の参加を希望する。
- ・ すこし若い人に福祉活動に参加してほしいと思います。
- ・ 40～50才代の活動的な委員の加入を願う。
- ・ 地域的に無理かも知れないが、若い人が少ない、動く人が参加できるよう、新しい仲間が増えるようになれば良い。
- ・ 年配者が多数だと思います。若年層の方々の参加を増やす必要があると思います。
- ・ 社協のこと若い人にも知ってもらって、活動に参加してほしい。
- ・ もう少し若い人に関心を持ってもらい参加して頂く
- ・ 地区の対象者の人数に対する福祉委員の人数が少なく、年々負担になってきました。もう少し若い人にもご理解いただいて委員になっていただきたいと思っています。

- ・ 今、福祉委員の一委員としてお手伝いさせて頂いていますが、だんだん年齢も上がっているを思うと、もっと若い年代の人達に福祉に関心を持ってもらえる様に運動し、福祉の活動に参加してもらいたいと思います。
- ・ 出来るだけ若い世代の方達に、地区福祉委員としてご入会いただき、世代交代がうまく行えるように心がける事が大切だと思います。地元の福祉委員会がいつまでも発展し、充実した福祉活動が行っていただけるために・・・。
- ・ 若い世代にも関心をもって頂く様、活動の場を広げていってはどうか？
- ・ 若い人が参加しやすい活動を考えてほしい。
- ・ 若い層を取り込む方法を考えねば。
- ・ もっと若い方たちの参加しやすい状況が、地区には必要かと思います。
- ・ 若い人の協力を得るには・・・活動しやすい雰囲気作り、楽しい活動の場所作りが必要。
- ・ もう少し福祉委員さんの若返りを望みます。70歳以上の方が多いたと思いますがいかがでしょう。若い人に出来るように定例会も日曜日にするとか、土曜日にするとか考えて、若い人に入って来てもらう様をお願い致します。
- ・ 福祉委員の高齢化で活動が負担になっている。もっとしぼりこんで気軽に年齢に合った活動が出来れば・・・。又、若いお母さん方との共働ができるの良い。
- ・ 町内では役員になる人がなかなかいない。若い人に世代交替したいと思っているのですが、うまく行きません。どの様にすれば良いでしょうか。
- ・ 福祉委員の年齢の高さが心配です。もっと若い世代への働きかけをと思いますが、なかなかうまくいきません。福祉への理解など交流を深めるような場があればと思います。
- ・ 若者の参加はムリ。リタイヤした人達がよってたかって活動するような方策を考える。
- ・ あまり若手を考えることはない。出来るだけのことを楽しくしていくことで地域とのつながりが出来ると思う。
- ・ 若い方達が参加していただくには、多くの問題があるように思います。普通に気軽に動ける時に動く、家族があつての事です。それぞれ責任を持って(受けた以上は)働いています。無理強いは少々？だと思ふ。適材適所。
- ・ 伏尾台地区は、若いスタッフに恵まれているのが大変元気で明るい活動が出来ていると思います。福祉委員・役員について(高齢化、定年制、後任)
- ・ 民生委員に定年がある様に福祉委員にも世代交代があっても・・・。
- ・ 若い方の入会がないのも問題ですが、民生委員のように、75歳以上は辞めていただくようにしたらどうか？古い体制でなかなか新しい考えがとり入れられなくて、若い人がおもしろくなくて辞めていく。中堅はしぶしぶしている。口だけで動かない。アンケートを取られたのをいい機会を考えて欲しいです。
- ・ 福祉委員も定年制を設けては・・・と思います。経験豊かな方は必要だと思うので、アドバイザー的な存在で見守って行くという方法はどうかと。あまり年齢のいかれた方がトップに居られると、若い層の方がなかなか入っていけない様に思われます。
- ・ 福祉委員はある程度の年齢(75歳位まで?)でやめてもらい、新しく若い人が入りやすい様にする。たとえば民生委員が定年になり、交替しても新人の民生委員を前に出さず、いつまでもやっているのに、新しい人が活動に出てこない。いつまでもやってくれる精神は尊いが、反面、動きがにぶく、口だけがしっかりしていてやりにくい。
- ・ 役員が年を取ってきているので、頭が固くなっている。ある程度の年がきたら引くのも・・・。長

年しているとマンネリ化でフレッシュな風が入らない。

- ・ その地域の事情もあると思いますが、お世話する方とされる方が同年齢にならない方がいいと思います。何歳までと決めてくださる方がいいのですが…。
- ・ 福祉委員に同じ人が長く勤めるよりも、2～3年位に入れかえしても良いのではないかと思います。
- ・ いつも同じ人が活動していますが、もっと多くの方が活動出来るようになれば良いと思う。役員の期間をあらかじめ決めて欲しい。
- ・ 女性高齢者の団体のようになっている状態。もう少し40代、50代、男性が参加しやすい団体になれば良いと思いますが、我が地域でも男性が2～3名しかいませんので、とてもお気の毒な気がします。
- ・ 高齢者の福祉委員で行事を行っている所が多いと思います。次をになう方々を育てていく事が大切と思う。しかし、なかなか機会がないのも現実です。
- ・ 福祉委員が高齢者でないことを希望します。
- ・ 役員のなり手がいない。
- ・ 後任の方がいない。自分で探さないといけないのが負担になる(なっている)。
- ・ 責任のある事やリーダーになることが苦手な場合は、順番がまわってくるとゆううつになり、続けることが困難になります。
- ・ 高齢者、仕事をしている人が多く、なってくれる人が少ないので、選ぶのに難しいという声も聞く。
- ・ 次期役員になる人がなかなか見つからない。一年間の行事が多すぎるので負担になる。役員になったら大変!
- ・ 現在は仕事を持つ女性も増え、日中に活動が集中している現実では、参加を促せない。夜(PM7:00～)や土、日、祝日などの活動日も考えに入れて、分担していったらどうか。活動日、時間などに負担が多すぎると不満も増え、なり手がなくなる懸念がある。
- ・ 渋谷では、多くの人に社協を知ってもらおうとの観点から、地区委員を2年任期にしたが、引き受けるのは易しく、次に役を渡すのが至難。あまりしつこくすると脱会します、と言われる。特に年1回の集金も困難で、好意的でない人も多い。役が回ってくると嫌だからと逃げ腰になられては困るから、「大変だ」と言う事はできない。次の人に役を渡すときは、1人で心当たりの人に頼みに行かなければならない。誰が引き受けてくれるのか今から悩んでいる。

福祉委員会の組織体制について

- ・ 福祉委員の高齢化もありますが、毎月の地区委員会でほとんど出席される方の意見がでません。欠席者は長期そのままです。役員さんの方からも、ほとんど決定ありきのお話が多く、正直なところ地区委員会に参加するのが苦痛です。もう少し運営面で自由な発言が出て、それを取り入れて下さることを希望します。
- ・ 福祉委員の一員であるとの自覚を持つためにも、地区委員会に出席するべきと思いますが、出席人数は半数以下で出席者も同じ人が多い。委員としての意識が少ないのでは。
- ・ 地区福祉委員の相互理解と助け合い!!!ある委員さんから以前聞いた嘆き「活動はするけれど、その他のつながりが薄く無関心」。
- ・ 民生委員の活動を現在行っていますが、地区福祉委員の活動はほとんど行っていません。もう少し情報がほしい。地区福祉委員のコミュニケーションをもっと多くとるべきだと思います。
- ・ 地区福祉委員は出来るだけ多くの方が経験されるといいと思います。そうすれば福祉活動に協力されるのでは。
- ・ 人数が少なく負担が大きいので重荷に感じます。気軽にわかり合えると良いと思うが、私事を犠

性にすることも多い。個人の性格にもよると思いますが、欠席するとなかなか言いにくい。

- ・ 地区活動の中で、委員にかかる負担が多くならない様に。
- ・ トップリーダーの片寄りの改善。
- ・ 委員がリーダーとなって、地域の活動をするという形態に限度を感じます。この仕組みだと、自分は何もしないが、役員のする事が気に入らなかったら文句を言う・・・という住民を作り出すばかりです。住民が主体となる（計画から活動まで自らの手で行う）新しい仕組みを考えるべきだと思います。特に若い人はそういう地域を望んでいるのではないのでしょうか。

活動内容について

- ・ バス旅行が少しずつ初めの趣旨を遠のいて行っている様に思う。本来は「1人では出かけたくても行けない人に楽しんでもらう」のが本当と違うのか。
- ・ 例えば、ふれあいサロンなど予算が限られて（ある程度は仕方ないが）毎月の手作り材料費も1人100円以内と限られてくるので、持ち出しになることも多々ある。 予算的にやりくりが大変である。
- ・ お金の使い方にかなり規制があります。決して無駄遣いなどしないのですから、もう少し地区にまかせてほしい。
- ・ 配食は必要なのでしょうか。
- ・ 福祉委員の研修などスキルアップ、体験談など必要。
- ・ 会議の説明の言葉が聞き取りにくいいため、マイクの設置要望。
- ・ 地区委員会ではマンネリの活動が多いので、新しい計画やニーズにもとづく活動ができる様に、住民を含めた話し合いの場が大切だと思います。
- ・ 地域住民や対象者に望まれる委員会となるためにも、地域の実態（環境・福祉ニーズ等）を正しく把握する事が必要と考える。そのためにも、行政が所持する情報や委員が持っている情報を正しくまとめ、その問題解決に努力する事が必要と考える。
- ・ 活動が年々多くなり（各部会）十分な活動が出来ない場合がありますので、十分な話し合いをして活動が出来たらよいと思っています。
- ・ 地域の生活の問題点を自治会と話し合う。 年配者が喜んで参加出来る公園を。健康公園。年に一度、箕面川の掃除を地域全体で出来ればと思う。
- ・ 地区が広いので、行事や集会をする会館に行きにくいです。校区単位が一番いいのかもしれませんが、他の地区の集会所の方が近いこともあり、もっと自由になったらいいと思います。
- ・ いろいろな行事への参加、協力が一部の役員へ偏っているので、負担に感じる。講習会や懇親会、担当者会議など、参加者が固定してしまっているのに、毎年開く必要はない。
- ・ 地域での他の行事・イベントに参加することが多すぎる気がします。高齢化する委員の負担になっています。かかわる行事等少し減る方向で考えて下さればと・・・。
- ・ 募金、バザー、会費集め等、動員がかかることが多すぎる。委員の高齢化が進む中、寒い中立ちっぱなしの募金活動（たいした募金もない）パフォーマンスなの？
- ・ 活動が多いのでは（活動種類）。
- ・ 従来のは、同じ人たちがばかりが集まって来る限られた「福祉」(??)になっているように思えます。同じ人が集まり、ゲームをし、お茶・菓子をいただき、それで終わり、ではいけないと思います。では、どうしたらよいのか?? は難しく、今答えをもっているのではないのですが、今までのやり方を変えるべきだと思います。
- ・ ボランティアの意味、福祉の意味が活動とともなっていない。本当に喜んでもらえているのか疑問。

活動しなければいけないから、おしかけてしているみたい。お金がないないといいながら、繰越金を残すことばかり考えている。

- ・ 高齢化をむかえていくので小地域へ目をむけた活動を考えたらどうか。小地域(自治会) 連合(校区) 大連合(池田市)と積み上げる。
- ・ 会議、行事等でいつも参加している人は、名前と顔で分かるが、初回参加の人はとっつきにくい。名前またはその方特技、今主にどんな活動をされているか、機会ある毎に知ってもらって輪を広げてもらいたい。
- ・ 新メンバーには、活動目的や社会的な位置関係、メンバーの紹介、プロフィール等の説明が最初に必要と考えられます。いきなり会合からでは、自主努力による理解や想像で実態が解りにくい。
- ・ ボランティアである以上、自身が楽しく出来なければ長続きもしないし、意味がない。新人には強要してはいけないが、基本的な常識は教えてあげた方がよい。例えばボランティアの名のもと、何でもしてあげたいという気持ちはわかるが、それが出来ない事も教える。
- ・ 小ネット活動が最も大切と思うが、毎日の暮らしの中で思うように進まない。1、地区委員は各自もう少しボランティア精神を発揮する事はできないのか。担当部会の活動にのみ力が入って「声かけ見守り」の活動はおろそかになっている感がある。2、こうした点が原因となつてか、隣近所の会員募集にも力を発揮出来ない。甚だしいのは高齢者の中には自宅の前に地区委員のいることを知らない人もある。3、地区内の人達がもっと気安く顔を合わせるイベント的なもの考える事も大切で、誰とでも声をかけ合う地域づくりが出来たらと思う。

広報・PR活動について

- ・ 社協の現在の活動、こんな事をしているともう少しPRして頂きたい。書いている私もあまりよく知らない。
- ・ 地区福祉委員会活動がどんな活動を全体でしているか？活動内容が住民の方々はあまりわかっていないと思います。詳しい活動内容のアピールがもっと必要ではないでしょうか？
- ・ 福祉委員の高齢化と共に今後若い人が入ってこられるよう広報活動などを活発にしてほしい。
- ・ 社会福祉協議会を知らない人も多いと思うので、もっとPRをしたらどうですか(特に若い人達)
- ・ 住民1人1人に活動の理解をしていただく様、広報活動を全力、力を合わせて進めていかねばなりません。
- ・ 定年退職と同時にこの地区に引っ越してきました。主人60歳、私52歳で、地区にとけ込む情報・すべが少なく、ほとんど地域と関係なく10年が過ぎました。ひよんな事から、福祉委員にさそわれ、お手伝いさせて頂く様になって2年になりますが、中に入って、色々活動されている事に驚きました。広報宣伝を広めた方がよいと思います。
- ・ 社会での「社会福祉協議会」が、どのような「もの」「位置づけ」かを、もっと一般市民に知ってもらうような活動を。社会全体が非常に無関心であるように思われる。何か「インパクト」のあるものがほしい。「社協」はこれですという宣伝を。
- ・ 掲示板の活用 地区としても頑張っている利用していますが、社協自体のPR用のポスターがあればと思います。隔月発行の「いけだの社協」の凝縮版。
- ・ 社協も防犯も、このごろ地域の協力なしには何も出来ない様に言っている。これは考えもの。みんなの住むところ、生活していくところ、住みやすく生活出来るようみんなで考えることをもっと社協等公の機関がPRしてほしい。
- ・ (1)大事な活動であるのにあまり知らない 原因は？、(2)高齢化と介護を要する可能性がある中、予防PR等住民へのお節介といわれるぐらい、活発であつてもいいと思う。

社協会員会費について

- ・ 社会福祉協議会のある事を知らない人が多い…。社協会員を増やす努力をしてください、協力しますので。
- ・ 活動状況を宣伝し、全戸加入をめざして取り組む。
- ・ 社協会費は年寄りが入るものと思っている人がいるので、もっと社協について地区福祉委員の活動について、知ってもらふ機会をふやしたらと思います。
- ・ 社協の活動の基になる、社会福祉協議会会員数を増やす方法をもっと考える事が大切だと思う。
- ・ 地域の皆さんに福祉委員会の必要性を知ってもらい、もっと会員が増えれば充実した活動が組めると思う（一人の負担が多すぎる）。
- ・ 福祉委員会費は、どの様に使われていますか。地区に還元されている以外の部分ですが、良くわかりません。赤い羽根募金を街頭で協力依頼するが、どの様に使われているのか分かりづらいので、大筋を徹底してほしい（これは私だけの問題かと思えます）。
- ・ 年会費500円は少し高すぎる。最低を100円位にして、住民全体に広げることを考えたら。弁当・ヤクルト・敬老プレゼント・子育て・ふれあい…etc. 全対象者なので。その位の意識向上が必要。
- ・ 高齢者が多くなり、委員も年齢が上がリ、活動が数少ない若い人に頼りがちになる。福祉委員の地位を明確にする。特に社協会費を集める時に不信感を持たれる人がいる。社協より何らかの身分証明出来るものが欲しい。

社会福祉協議会と事務局について

- ・ （要望）社協自体が表に出て、地域とのコミュニティを進めること。
- ・ 地域性もあって、なかなかやりにくいところもあるので、社協の方から色々と仕かけてほしい。
- ・ 社協の職員の負担は年々が増していると思いますが、もっともっと外へ出て来ていただきたい。市・行政に対しても、もっとしっかり物言える社協でいてほしい。
- ・ 行事のたびとは言いませんが、時間があれば時折巡回して頂けるとありがたいです。
- ・ 地区委員会に必ず職員が出席していただいています。大変良いことだと思います。地域を把握していただき、意見もすぐにお聞きできる。相談にも応じていただけます。これからも続けてください。
- ・ 地区福祉委員会活動と社会福祉協議会との連携を深める為の方策をより一層練る事が必要だと思う。
- ・ 協議会のお力で若い方達との連携を作ってほしい。
- ・ 池田市の社会福祉協議会がもっと直接市民に語りかけるシステムであって欲しい。市の福祉事業は地区委員に頼りすぎている気がします。
- ・ 予算が少なくてよりよい活動を…と思っているが、中々無償では出来にくい点がある。社協から下さる要望には絶対従わねばならないという感がある。少ない職員でご苦労様だと思います。市の援助がもう少しあれば…と思います。
- ・ 社協が何をしたいのか、池田市の各地域をどのような形にしたいのかを理想論でも良いと思いますので、図式化と文章などで表して頂き熱意を持って各地域に伝える努力をする必要があると思います。その理想の中の一つでも完全に全地域で実行出来るようになるよう援助をお願いします。若い方々の活力も必要と思います。新しい風を吹き込んで頂き、活気のある街にしていくことが必要と思います。
- ・ 社協の職員は、国や大阪府の研修をしっかりと受けて、地区福祉委員会の代表だけでなく、順番で良いから、地区委員全員に聞かせてほしい。また、社協全体の活動として、一般市民は知らないけれども、こういうことが起こっているというような出来事を知らせてほしい。地区別の傾向もあるの

でしょうから、知らないことで、大切なことを教えてほしいと思います。

- ・ 協議会と地区福祉とはどんな関係になっているのですか？例えば（１）協議会（NPO 法人）の下部組織ですか？（２）地区福祉という（任意団体）団体ですか？（１）（２）によっては指示命令、活動規制、等々色々違って来ますが？他の団体と活動ごとに重複するものがありますが、今後はどのようにお考えですか？活動範囲は限定ですか？範囲の拡大はされるのですか？活動の優先順位はあるのですか？
- ・ 住民座談は必要ありません。それぞれの団体があり、役員も同じメンバーで個人個人の住民までは行きとどく事がなく、なにをどうして行きたいのか？何も見えてこない結論がでない。
- ・ 毎月届けられる池田市広報「お知らせ」記事には、保険年金・税・福祉・高齢者・その他 etc. で種々市民へ情報提供がされていますが、豊中、箕面両市および能勢町の２市１町では、それぞれの住民に対して、年金や労働について「無料なんでも相談会」を開いて、その種の専門家として、地区の社会保険労務士（豊能支部長 氏）に委嘱して、公民館や市役所内にて定期的に住民の相談に応じた催しを社会福祉協議会承認（主催）にて開催されていますが、池田市ではそのような考えはありませんか。お伺いします。
- ・ 伏尾の「ふれあいサロン」の件で、色々な所で話を聞くが、社協が援助している「ふれあいサロン」なら、他校区と異なる対応では批判が出るのではないのでしょうか？
- ・ 高齢化で、社協からは何の支援もないという不満をよくききます。自分たちはしてきたのに、いざ動けなくなると何もしてくれない！！と。介護制度とどう連携するかが難しいです。介護の人はようしてくれはるけど・・・介護はうけたくないし・・・etc。
- ・ 問１９で記述し少々重複しますが、福祉に対しての関心度のうすい人ばかりの集合であるやに思います。新しい人を誘っても入りにくいムード。愚痴は言わず、地区を盛り上げる努力をするよう、何かと協議会の助力をよろしく。

活動しての感想

- ・ 地区の総会の時、なぜ何時も「」氏だけが市議員を代表して来賓として出席するのか、全くおかしいと思う！それから、選挙の日に彼の事務所から TEL があるのもなぜだろうか？
- ・ 福祉委員会への入会を、私の承諾なしでの事で、なんの事だかさっぱりわからず、とまどっております。私の名前がかってに入っていましたので、お断りの TEL をいれましたが、受け入れられずびっくりしています。
- ・ 五月丘校区から２丁が池小校区になった時点で、参加枠が考えなおされて、２丁からの参加が出来やすいようにしてほしいと思います。
- ・ 定年退職した大人（男性、女性も含む）で、利己主義者が多いと感じる（田舎と比べて）。「権利の主張」は腹いっぱいするが、「義務の履行」ができてない大人は真の成人ではないと思う。そんなことを福祉委員は理解した上で、ある時は当事者と距離を置いて見守る姿勢も大事な時代になっていると感じる。福祉委員の精神的負担軽減のためと、今後継続させるために。
- ・ 川西市にコミュニティ推進協議会というものが存在します。是非、視察に行ってみてください。これからの地区福祉や地域の連携のあるべき姿が見えてくると思います。キーワードは「ともに（共に、友に）」だと思います。各団体を尊重しあう。
- ・ 行政ともっとタイアップして行くことが大切だと思う。
- ・ 行政に対し今まで以上に強く支援要請していく。
- ・ 地区福祉委員の方は、活動的に行動しているが、市の社会福祉担当の活動がもうひとつ我々に伝わってこないの、どういった仕事をされているのか教えて頂きたい。

- ・ 高齢者のおかれていた立場が悪化している。政治の責任が大きい。協議会活動の現場にいて無力感がある。
- ・ 隣人同士無関心・核家族化の進行、やはり時代の移り変わりを実感する。
- ・ 与えられた仕事をするだけの今の私は、地区福祉委員会の真の活動がよくわかっていません。はたして、それで福祉にたずさわっていますと言えるのかどうか迷っています。
- ・ 社会福祉に対する意識を住民全体が高く持つために、色々なことを考えて、手を打っていかねば、一部の委員さんの活動というイメージになっている様に思います。
- ・ 当、神田地区は全て地元優先で、地元以外は疎外感がかなり強い。これを無くさない限り、地区の発展はないと思う。
- ・ 私自身社協と地区福祉の役割分担や役割の違いを理解していないし、民生委員等も含め同じ人同じような活動でどれが何の担当なのか理解せずにいるのが現状です。結果どれでも「役所、社協の下請的存在」という設問に をした次第。問16の隠れたニーズも一般の方は何をどのような方に相談してよいのか伝わっていないと思われるのですが…。
- ・ 私はご近所の担当でないので、顔（ごあいさつ出来ないのが残念です）を知らない。知られていないので、これからが不安です。特にマンションの方々とは全然です。子ども会等に出るようにはしていますが…。
- ・ 負担に思う、今はこの頃。
- ・ 1) 実際の活動を通じて、その内容に適した動き方は自然に学習することもできる。また、色々工夫して活動できる人々も多いし現場のニーズにかなっている。2) スキルは大切だが、情報先行で心がついていかなかったり、現場で活動する人の時間をとるような（少なくする）集まりは不要。
- ・ 新しい街なので、地区福祉委員会活動の実態を知っている人は意外に少ない。地理的に車の送迎がネックになってくる。
- ・ 地域の人達とのふれあいをもっと広がれば、今まで以上に社協のあり方が理解してもらえるのでは…。
- ・ 一部分の人の活動では無理と思う。広い範囲の人々との気軽に話し合える場が必要に思う。
- ・ 活動の目的意識をもっとみんなが理解することが、大切だと思いますが、見える部分しか伝わっていない。
- ・ 活動が自治会等と重なるところがあって、委員自身がはっきりと目標がわかっていない様な気がする。池田には他にもボランティア団体が数多くある様で、その方々もまきこんで、若い人達にも入ってもらっての活動が出来たらと思う。

応援メッセージ・意気込み

- ・ 輪を広げられるよう、努力していきたい。
- ・ 皆さんそれぞれボランティア精神に発揮されて、楽しく和やかに取り組まれていると感じます。
- ・ これからも社会福祉のためにがんばって下さい。
- ・ グループのリーダーの方がきめ細かくお世話くださいますので、感謝しています。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- ・ 地区福祉委員会として、どこまで活動するのかという認識が委員によって違うと思うが、負担にならない範囲で参加させていただけたらと思っています。社協のバザーに来られるお客さんの待ち時間などを使ってアンケートを行ってみてはどうでしょうか。自治会、子ども会に入会していない住民にももっと知ってもらえるように考えましょう。
- ・ 若い時から福祉委員会にかかわっています。私は高齢者です。主人がなくなってから、当番の時だ

け手伝いをさせていただいております。何か手伝わしてもらって喜んでいただきたいと思います。仲間の方におゆるしを得て「ふれあいサロン」の日は楽しいです。顔馴染みの方、知らない人に出ている方と話ができ楽しい1日を過ごしています。動ける間は人のよろこんでいただける様、生きていきたいと考えています。

- ・ 自分のごくごく一部の事しか手伝っていないので、いつも申し訳なく思っています。多くの委員の方が毎月の月例会に参加され、着実に活動されていることは本当に尊いことだと尊敬しています。これからも、できることは喜んでお手伝いさせていただこうと、考えています。
- ・ 各自が自分の持分を十分に発揮して、地区は頑張っていると思います。
- ・ 地区福祉委員との交流と、お互い笑顔で挨拶する様、心掛けたいと思います。
- ・ 私の所属する部会の部長さんはとても優しく尊敬出来る方です。
- ・ 広域活動する様に、幅広く皆様の意見・知識を取り入れ、開かれた社会福祉になりたいと思います。

5、「その他」の回答内容

各設問の「その他」に記述された内容は、以下のとおりです。

P4、「職業」

茶華道教授、カルチャー教室指導、自宅にて教室、ボランティア、民生委員、保育サポーター、不動産管理、法人役員、公務員、不動産貸付業

P6、「地区福祉委員以外の活動参加状況」

キッズランド、町角の図書委員、選挙推進委員、グループホームに月1回、農業協働組合役員、池田中学校生活指導委員、福祉委員会、独居老人会、障がい者活動、ひとり暮らし老人の会、地域住民座談会実行委員会、少年補導委員、子ども見守り、子どもの居場所づくり、秦小キッズランド、障害者施設でのお手伝い、朝の見守りパトロール、高齢者のつどいサポート、防犯委員、お寺、石橋校区スポーツ振興会、見守り（小学校の登校時）農業実行組合、商店会・祭・イベント、住民座談会準備会、村の中高年会、スポーツ少年団、小学校の囲碁、登校時見守り・清拭布作り、宗教団体

P7、「地区福祉委員会活動を始めた動機」

- ・ 民生児童委員をすると社協もしなくてはならないから
- ・ 民生委員になった時に強制的に
- ・ 民生の延長
- ・ 町会長が自動的に入ることになっている
- ・ 知らない内に福祉委員に
- ・ ボランティアを始めたら、その活動が地区福祉の活動の中に含まれていた
- ・ 設立にかかわることになったから
- ・ 地区福祉委員に誘われて
- ・ 友人に声をかけられて
- ・ 4年前、池田に永住を決めたときに、地域の人と広くつながりを持ちたいと思った。ちょうどその頃おさそい頂いた。
- ・ 頼まれて断りきれずに・・・

P 8、「地区福祉委員になつての感想」

- ・ 定例会の発言は、皆さん気を使われているように思える。もう少し自由に協議事項も全員の意見をよく聞いて決定してほしい。
- ・ 地区福祉委員活動に疑問を感じる
- ・ 一部の委員さんがかたまって入りにくい
- ・ 特に小地域内での会員の動静に注目
- ・ いろいろな事が勉強になった
- ・ 総合的にまだ充分理解が出来ていない
- ・ 担当している活動以外にも、いろいろな活動があるが、無理なく（自分のペースの範囲内で）協力させていただいていることに感謝。
- ・ 今の所楽しい
- ・ 特に感想はありません

P 9、「地区福祉委員会の認識」

- ・ きちんとした活動がみえない
- ・ 1～8 少しずつ全部
- ・ 行政が届きにくい人・対象に連携してささえる団体

P 10、「地区福祉委員会活動の問題点と課題」

- ・ 活動始めたばかりなので、ただ言われた事について行くので精一杯です。
- ・ 地区福祉委員会の位置、意義、ビジョン、めざすものなどを、委員の1人である自分がかきわかっていないことが課題
- ・ 社協全体の仕事を理解していない。金銭的な協会の方のお仕事。私も多くの方も。
- ・ 個人情報の問題で地域に住んでいる人の（手助けの必要な人）情報が少ない
- ・ 委員のなり手がないうら、地区福祉から排除したり会長のいいなり
- ・ 研修の数を増やす事である
- ・ 本当に支援を必要とする人のために活動がなされていない
- ・ 社会の変化についてはおくらせてしまう。ほんの少し先を見ることのできる人がたくさんほしい。
- ・ 色々な考え方の人があるので、どんなに話し合っても活動に理解してもらえないこともあった（ふれあいサロンの定期的な開催と定期的なボランティアとして手伝うことについて）
- ・ 高齢化している
- ・ 地区福祉会は何をしているのかとよく聞かれます
- ・ 石橋（地）の生まれでないから
- ・ マンションが多くなり 事がむずかしい
- ・ 人間関係
- ・ 自治会との連携

P 11、「地区福祉委員を次世代に引き継ぐ条件」

- ・ 社協の会費を集める時、最低2人で集める様にすればいい
- ・ 若い人に自主的に参加しやすいように、助手的活動から入ってもらう
- ・ 口出しとは異なり、基礎的なこと。なぜ組織化され今までどんな仕事をしてきたかなど・・・。
- ・ 地区福祉委員が活動の意義・目的などなぜこの活動が必要かをしっかりと理解していない。大切な活動だと理解してこそ行動に移れる。また活動について地域の住民にも説明したくなるし協力を求める。または、こんなすばらしい活動があると周囲の人に話したくなるに違いありません。しかし、

それがないということは活動に魅力がない生きがいを感じられない、やりがいのある活動と感ぜられないということではないでしょうか。

- ・ 社協の PR 活動を重点的、集中的にするアピールを工夫する。
- ・ 人のために何かをするという意識の啓発
- ・ 目的、存在する意義、ビジョンを明確にすること
- ・ 先輩に池田で何年住んでると言われた。45年と・・・まだまだ若いネ。
- ・ 負担にならないよう活動を制限（強制）しない
- ・ 地区福祉委員が何をしているのか、私自身入って初めて知りました。知らない人が多いのではないのでしょうか？
- ・ 委員がやる、というしくみが古いのではないのでしょうか。住民参加の方法を考え直すべき。

P11、「地域のニーズを把握する方法」

- ・ 個人情報規制にあまり縛られない
- ・ 様々な年代の人の意見を聞く
- ・ 1、3、4、5の活用方法
- ・ 「たすけて」と言えない方のサインを CSW などとどれだけつなげられるか・・・
- ・ 一般・公募（具体的に活動内容を絞って）
- ・ 地域の人々の声なき声に耳をかたむけて～！

P13、「円滑なコミュニケーションのための条件」

- ・ 新会員等には流れの解る過去の議事録等を見せる
- ・ アンケートをとり、みんなの意見を吸い上げる

地区福祉委員の意識調査

池田市社会福祉協議会

地区福祉委員会が設置され30年が経過し、地域を取りまく環境が大きく変わりつつあります。そこで、池田市社会福祉協議会では、「地区福祉委員会あり方検討会」を立ち上げ、より一層の地区福祉委員会の発展について考えることにしました。今後の活動のあり方を考えるには、まずは活動実態を把握し、福祉委員の声を聞くことが大切です。このたび、福祉委員対象に意識調査を実施することで、今後の参考資料にさせていただきたいと思っております。ご記入いただいた回答は、統計処理のみに使用します。率直なご意見をご記入ください。

【調査の概要】

実施期間 平成21年9月17日～11月19日
対 象 全11校区の地区福祉委員
調査方法 各地区福祉委員会へ調査用紙を配布し手回収
集計作業 池田市社会福祉協議会

【連絡先】

このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
池田市社会福祉協議会 地域福祉課(月～金 8:45～17:15)
電話 072-751-0421 FAX 072-753-3444 メール chiiki@i-shakyo.or.jp

<問1> あなたの性別はどちらですか。

男 ・ 女

<問2> あなたの年齢はどの区分に入りますか。当てはまるものに をつけてください。

20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90代以上

<問3> あなたのお仕事は何ですか。次の内から一つだけ選んで番号に をつけてください。

1. 学生 2. 勤め人(常勤) 3. 勤め人(パート、アルバイト、非常勤) 4. 専業主婦
5. 無職 6. 自営業 7. その他()

<問4> あなたは何人家族ですか(自分を含めて)。

()人

<問5> あなたのお住まいはどれに当てはまりますか。次の内から一つだけ選んで番号に をつけてください。

1. 持ち家(一戸建) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 借家(一戸建) 4. 借家(集合住宅)

<問6> あなたは、今の小学校区に何年お住まいですか。

()年

<問13> あなたは、地区福祉委員会はどのようなことをする団体だと思いますか。次の内から三つ以内で選び、番号に をつけてください。

1. 子ども・高齢者・障がい者を主な対象に、福祉活動に取り組む団体
2. 子ども・高齢者・障がい者以外に、防犯・防災・環境など、まちづくり全般に取り組む団体
3. 支援が必要な人を対象に、簡単な家事援助など日常生活の支援をする団体
4. 支援が必要な人を対象に、見守り声かけを行う団体
5. ご近所同士のつながりづくりをする団体
6. 福祉のこころや意識を育てる団体
7. 地域の困りごとを発見する団体
8. 地域の困りごとを解決する団体
9. その他()

問14 地区福祉委員会活動の問題点や課題だと思うことは何ですか。特に課題だと思うものを三つ選んで番号に をしてください。

1. 組織体制が整備されていない
2. 古い習慣にこだわって、新しい企画や体制が受け入れられない
3. 話し合いや合意形成ができていない
4. 活動がマンネリ化している
5. 活動の種類が多い
6. 地域の問題や課題の把握ができていない
7. 福祉委員のなり手や協力者が増えない
8. 広報宣伝活動が弱い
9. 予算が、必要な事業に割り当てられていない
10. 他団体との連携が薄い
11. 池田市社会福祉協議会の下請け的な存在になっている
12. 行政の下請け的な存在になっている
13. 社協会員募集がうまくいかない
14. 特に問題はない
15. その他()

<問15> 「福祉委員が高齢化している」「若い人が入ってこない」という声が福祉委員から上がっています。福祉委員を次の世代へ引き継ぐためには、何が大切だと思いますか。次の中から三つ選んで番号に をしてください。

1. 楽しく活動すること
2. 参加しやすい雰囲気づくり
3. 活動が負担にならないように役割分担をする
4. 活動にかかる実費を支給する
5. 地域でボランティア講座などを開催する
6. PTA や子ども会などの団体と一緒に活動する
7. 若い世代への啓発・宣伝活動を積極的に行う
8. 行政機関が活動の推進に取り組む
9. その他()

<問16> 「地域には隠れたニーズがもっとあるのでは」という声が福祉委員から上がっています。地域のニーズを把握するには、どうすればいいと思われますか。次の中から三つ以内で選び番号に をしてください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 日々の活動を振り返ってニーズを探す | 2. 活動の対象者から意見を聞く |
| 3. 住民対象にアンケートをおこなう | 4. 住民座談会をおこなう |
| 5. 他団体と情報交換を行う | 6. 新しい分野の活動に取り組む |
| 7. 行政から情報をもらう | 8. その他() |

<問17> あなたの地区福祉委員会では、十分な話し合いのもと活動ができていますか。当てはまるものに一つをつけてください。

1. できている 2. まあまあできている 3. あまりできていない 4. できていない

<問18> 地区福祉委員会の中で、円滑なコミュニケーションをはかるには、何が大切だと思いますか。次の中から三つ以内で選び番号に をつけてください。

1. 役員がリーダーシップをとる
2. みんなが納得しながら活動を進める
3. 課題や問題を先延ばしにしない
4. なんでも話し合える雰囲気づくり
5. 活動以外に懇親会などをする
6. 会議の進め方や話し合いの仕方のスキルを学ぶ
7. 気軽に相談できる拠点づくり
8. その他()

問19 地区福祉委員会と他団体との連携について、うまくいった事例、これから連携したい事柄がありましたら、具体的にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

<問20> これからの地区福祉委員会活動に対するご感想、ご意見がありましたら自由にお書きください。(社会福祉協議会への要望など、どんなことでも構いませんので、ぜひお書きください)

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました
お渡した封筒に入れてご提出ください